

# SCOUTING

2018  
No.724  
3



なろう。一人前に。  
キャンペーン実施中

特集

## 行こう! 第17回 日本スカウト ジャンボリー



CONTENTS

- 02 行こう! 第17回日本スカウトジャンボリー
- 07 ニッポン全国元気団紹介  
大阪連盟 吹田第19団
- 08 移行完了まで1年  
BS・VS 新進級課程「富士スカウトへの道」
- 10 日本連盟創立100周年に向けて  
ボーイスカウト再興への道  
シリーズ(2) 加盟員減少の要因を探る
- 11 平成30年度指導者訓練コース  
開設予定一覧
- 12 報告 平成29年度日韓スカウト交歓計画
- 13 エッセイ
- 14 ローカルホットライン
- 15 平成30年度全国大会
- 16 日本連盟情報
- 16 スカウティングの知っててちょっと良い話(47)
- 17 維持会員
- 17 信仰奨励
- 18 キャンプ場ガイド
- 19 野外活動のための安心・安全講座  
安全な乗り物としての自転車  
～改正道路交通法を参考にして～
- 20 スカウティングとウッドクラフト④  
スカウティングの土台としてのウッドクラフト
- 22 難民支援衣料回収プロジェクト 2018春
- 22 平成29年度7月大雨災害  
義援金・見舞金・支援金
- 23 スカウトショップ

# 17th NIPPON JAMBO (略称: 17NSJ)

[会期] 2018(平成30)年8月4日(土)～10日(金)

[会場] 石川県珠洲市「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」

[テーマ] 「冒険 ～能登のチカラ未来へ～」

いよいよ開催まであと5か月。  
今月号では、さまざまな最新情報や  
皆さまお待ちかねの見学者に関する  
情報などを紹介いたします。

# 行こう!

## 第17回日本スカウト



## プログラム

大会のプログラムは、半日単位で参加するモジュールプログラム、日中の余暇の時間や夜間に実施するサブキャンププログラム、希望者のみの事前申し込み制で実施するエキスカージョンプログラムで構成します。

### モジュールプログラム

モジュールプログラムは、そのねらいにより4つのテーマに分かれ、会場内外の5つのエリアで展開。それぞれのモジュールには複数テーマのプログラムを準備しています。また、希望する参加隊は、8月6日(月)と8日(水)のエキスカージョンプログラムに参加することもできます。

#### テーマ1 チームワーク

進級課題と関連させた個人や班の対抗競技により、一つ上の進級を目指しながら、班のチームワークを高めるプログラム。

例) 班旗立て、火起こし、班対抗ゲーム、丸太切り、ローマ戦車など

#### テーマ2 名称未定

自然や科学、伝統、文化などの体験をとおして将来の進路選択に向けたキャリア形成につなげることができるプログラム。

例) ワールドスカウティング、企業・団体によるプログラムなど

#### テーマ3 名称未定

会場の広さや参加人数を体感できる大会の規模を活用したプログラム。

例) 大型構築物、通信や計測技能を使った競技など

#### テーマ4 マリン

海水浴場の砂浜や海でのプログラムや水上スポーツ。

例) ミノトライアスロン、ライフセービング競技、ロープ結びを使った競技など

### サブキャンププログラム

交歓プログラム、スキル・オ・ラマ、スワップ、友情(ワイド)ゲームなど、サブキャンプで実施する自由参加プログラムです。

### エキスカージョンプログラム

エキスカージョンプログラムは、バスを使用する場外の有料プログラムで、8月6日(月)と8日(水)の2回実施します。エキスカージョンプログラムは、希望者のみの事前申し込み制で、バス代や施設入場料等の参加費を事前に納入します。また、参加の際は参加隊指導者が引率してください。

エキスカージョンプログラムの内容と申し込みについては、今後発信する情報をご覧ください。

# SCOUT REE



# ジャンボリー

## プログラムの参加方法

各サブキャンプの参加隊は、5つのグループに分けられ、割り当てられた5つのプログラムモジュールに半日単位で参加します。また、班対抗プログラムは、最少5人、最多8人で参加し、4人を下回る場合は、その場で混成班を組んで参加します。

日程	午前	午後	夜間	エキスカージョン プログラム
8月6日 (月)	モジュール	モジュール	—	○ 午前・午後
8月7日 (火)	信仰奨励の 集い	—	ジャンボリー 大集会	×
8月8日 (水)	モジュール	モジュール	—	○ 午前・午後
8月9日 (木)	モジュール	—	閉会式	×

## 信仰奨励・奉仕活動

隊や班におけるスカウトタウン・サービスをとおして、「ちかい」と「おきて」の実践や、平和などについて考え、スカウトとして行動を起こします。プログラムエリアには各教宗派によるパビリオンが設置され、日々の信仰活動(礼拝等)を実施したり、自身の信仰と異なる教宗派を知ったりすることができます。

また、8月7日(火)の午前中には、全参加者による信仰奨励の集いや、各教宗派による集いを計画しています。



## 全体行事

### 1. 開会式 8月5日(日)

参加者が大会の開会を祝い、今大会の趣旨を確認する内容です。

### 2. ジャンボリー大集会 8月7日(火)

異なる文化、信条をもつ参加者同士が、参加する国や地域などの特色ある演技等を鑑賞し、世界に広がるスカウト運動を体感し、団結することを目指します。

### 3. 閉会式 8月9日(木)

ジャンボリー会場で過ごした時間を振り返り、大会に関わる人、物、環境について感謝の心をもつほか、大会で出会った仲間との再会を約束するなど、ジャンボリーで学んだことへの実践を誓うことを目指します。



## サブキャンプ

参加者は、6か所のサブキャンプに分かれて生活します。

各サブキャンプはブロックの参加人数に応じた区画数に区分し、ブロック内の県連盟が主体となって運営します。

会場は、海に面し、沿岸地特有の気候で、晴天時には特に暑さが厳しくなります。

サブキャンプには樹木がほとんどないため、タープなど日除けの工夫が必要です。また、時折強い風が吹くため、テントなどが飛ばされないための工夫も行いましょう。サブキャンプは、耕作地など平坦な用地が多く、全般的に砂の多い地質です。

雨水側溝などで穴を掘る場合には、撤営時にきれいに埋め戻しましょう。また、耕作地に灰や炭、ごみなどを残さないために、直火によるたき火や生活雑排水を土壌浸透させないよう、各参加隊でかまどや炊事場を工夫して炊事を行ってください。



ジャンボリーに関する最新情報は、  
大会ホームページをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/17nsj/>

## 参加確定申し込み

大会に参加する参加者（参加隊スカウトおよび指導者）、大会運営スタッフ、派遣団本部スタッフは、昨年実施した参加予定申し込みが続いて、参加確定申し込みで正式な参加者登録となります。

参加予定申し込み後の参加者の変更や、参加確定申し込みからの新規申し込みも可能ですが、参加隊については予定申し込みより大幅な人数の増減や参加隊の必要区画数（隊数）に変更が生じる場合には、所属県連盟を通じて日本連盟と調整のうえ、申し込み手続きを進めてください。

### ■ 参加確定申し込み期日

団 → 県連盟

2018年4月10日（火）

県連盟 → 日本連盟

2018年4月20日（金）

### ■ 参加費

一人あたり

**40,000円**（予納金10,000円＋残額30,000円）

参加予定申し込みを済ませている方は、必要書類と一緒に参加費の残額（一人あたり30,000円）を、所属県連盟を通じて納入してください。



## 見学者について

今大会では、より多くの方にスカウト運動や大会の意義を理解していただくために、大会の一部を体験できるよう見学者を受け入れます。加盟員であるスカウトや指導者、その家族、地元の住民などを広く歓迎します。駐車場の確保や会場内の混雑を避けるために、一日最大約2,000人、期間を通じて延べ10,000人程度を予定しています。

### ■ 見学日程

大会のプログラムや全体行事の実施時間帯に合わせて設定します。

日程	見学時間帯	主な行事
8月5日（日）	13:00～21:00	開会式
8月6日（月）	9:00～16:30	プログラム
8月7日（火）	13:00～21:00	ジャンボリー大集会
8月8日（水）	9:00～16:30	プログラム
8月9日（木）	9:00～21:00	プログラム、閉会式

※ 見学時間帯については、今後変更することがあります。今後の情報にご注意ください。詳しい申し込み方法などは今後発信していきます。



## 大会運営スタッフも大募集！

参加予定申し込みでは、サブキャンプ本部に希望が集中し、大会本部各部への希望者は必要人数の約半数でした。現在参加隊などでの参加を予定していないローバースカウト、指導者の皆さん、ぜひお申し込みください！

大会本部の各部への奉仕を希望する方は、参加確定申し込み要領の最終頁、必要な特技、技能、資格などを参照のうえ、第1希望から第3希望までの部署を選択し、お申し込みください。

# 観光



## 禄剛埼灯台

[場所] 狼煙町 [交通] 木の浦線「狼煙」徒歩10分



## 揚げ浜式製塩(重要無形民俗文化財)

[場所] 珠洲市海沿い(主に外浦地区)



## 見附島(石川県指定天然記念物)

[場所] 宝立町鶴飼 [交通] 宇出津珠洲線・穴水珠洲線「見附島口」徒歩5分



# 祭り

8月7日は、宝立七タキリコまつりが開催されます。7日夜10時頃、宝立町鶴飼の海岸に集結した各町内のキリコが、海の中に担ぎ出される様子は勇壮、華麗。珠洲を代表する祭りの1つです。

# 食



季節ごとに奥能登の旬の食材が味わえるオリジナル丼「能登丼」が、珠洲をはじめ約50店舗で提供されています。海鮮や能登牛など奥能登ならではの味わいが魅力です。

# お土産



## 道の駅すずなり

特産品の天然塩や珠洲焼、いも菓子や珪藻土コンロなど約800種類の土産品を販売。宿泊や観光の案内もしています。

# 珠洲市からのお知らせ

# 温泉



ジャンボリー会場内には、天然温泉「元気の湯」があります。タニタの健康食などが食べられる「ゲンキ食堂」のみの利用もできます。通常の営業時間は午後1時～午後9時ですが、大会期間中は午前10時～深夜12時まで延長する予定です。[料金] 中学生以上700円(タオル・バスタオル付き)、小学生300円

# 歴史・文化



灰黒色が特徴の幻の古陶といわれる「珠洲焼」。大会会場に隣接する「珠洲焼資料館」と、現代作家の意欲作を展示、販売する「珠洲焼館」で、珠洲焼の魅力を感じてみませんか。珠洲焼資料館の入館料は、大人310円、小学生～高校生150円。珠洲焼館は、入館無料。

# 宿泊

見学など、珠洲に宿泊するお客様向けに、おトクな3つの助成制度を用意しています。

## ■ 奥能登珠洲の交流支援助成金(合宿助成)

合宿など、珠洲市内の宿泊施設で長期滞在の方は、ぜひご利用ください。助成対象は、連続する宿泊の人数×日数が延べ10以上の小中高生または大学生で、1人1泊あたり小中高生は1,000円、大学生は1,500円を助成します。

## ■ 能登空港 乗って、泊まろうキャンペーン!(観光客助成)

能登空港発着便を利用して、珠洲市内の宿泊施設に宿泊された観光客の方に、宿泊費2,000円(小人1,000円)を助成します。

## ■ レンタカー利用者宿泊助成制度

石川県または富山県レンタカー協会の加盟店でレンタカーを借り、珠洲市内の宿泊施設に泊まると、レンタカー1台あたり3,000円/泊が宿泊代金から差し引かれます。

各助成にはそれぞれ適用外がございます。詳細は、下記QRよりご確認ください。

珠洲の観光情報は「すず観光ナビネット」で検索!



# ニッポン全国 元気団 紹介

## 大阪連盟 吹田第19団

天下の台所大阪。その北部、大阪の巨大なベッドタウンであり、1970(昭和45)年に開催された日本万国博覧会の会場であった万博公園がある吹田市の、登録数170人を超える吹田第19団がある。



## 魅力を見直し、再発進!

### 170人の大家族

1976(昭和51)年、人数が多くなった吹田第17団よりカブ隊が分封。吹田第19団が発団した。その後、各隊が発隊し、1990年には全隊が発足。平成に入り、全体で約240人も巨大な団に成長した。

基本に忠実であり、「当たり前」と、団運営、隊活動ともにしっかりとやっている。ビーバー隊は野外を中心に、保護者とも楽しさを共有しながら、ときには10kmにもなるハイキングを実施するなど、アクティブに活動している。カブ隊は、保護者の関わりを大切にしながら、野外での活動はもちろん、プルトップ集めや集会を行っている公民館等への奉仕などの活動もしっかり行っている。ボーイ隊はハイキングやキャンプを多く行い、班で活動をきちんと行っている。ベンチャー隊に上進すると、代表スカウトは、甲子園での奉仕などもあって、後輩たちからは憧れの目で見られており、ローバー隊も多方面で活動している。



### スカウト100人を割った危機感

ただ、良いときもあれば悪いときもある。スカウトの人数は徐々に減ってきて、2010年代に入るとスカウトの登録数が100人を割ってしまったそうだ。

それでも、日本全国の平均値よりは多く、羨ましいと思うところもあるかもしれないが、団ではこの100人を割ったことに、強烈な危機感を覚えたそうだ。

どのようにすればこの状態を盛り返せるのだろうか。

まずは、隊指導者、団委員、そして保護者

全員に、「保護者は活動をどのように感じているか」、「団についてどのように思っているか」などを中心に、アンケートを実施。その結果は驚くものも多く、団としてさまざまな現状を把握できたそうだ。そこで、「活き活き、行きたくなる、入れたくなる」スカウト活動19団、題して「ISK19×3プロジェクト」を隊指導者、団委員、そして保護者など団関係者すべての垣根を越えて行うことにした。



### ISK19×3プロジェクト

危機感を共有しつつ、お互いに目標である「スカウト100人」の確認から始まったこのプロジェクトは、アンケート結果の分析や勧誘活動、入団者獲得策のアイデアを出し、そしてどの方法が有効かを絞った。

その工程は会社経営さながらに、さまざまなアイデアを分類し、それぞれのねらいやメリット、効果数値やコスト、制約や課題などの評価を数値化し、その中から上位3つの基本方針を作成した。

その3つとは、「ポスター・チラシの作成」、「HPと団報のリニューアル」、「活動を見てもらうための地域・学校とのタイアップ」であった。また、隊活動も基本に忠実に活動していくことを改めて確認した。

### 動き出すプロジェクト

ポスターやチラシなど団独自のものの作成の骨子は「団内におけるスカウトの活動での親しみやすさや保護者の声の反映、HPとの連動」。ポスターがプロ顔負けの仕上がりになったほか、ビーバーの体験入隊のチラシなど

は、保護者の声を聞きながら、活動がわかりやすく伝わるものを作成した。

HPや団報のリニューアルは、SNSなども利用しながら、リアルタイムな掲載や予告なども載せ、体験に来る人をより誘導しやすくし、各隊にHP担当者を置くことで体制の強化を図っていった。

そして、最も大きな効果を発揮したのは、地域や学校とのタイアップや行事の開催であった。地域の行事への参加や、学校や公民館の行事とのタイアップなども行いながら、団独自の体験イベント「子供カーニバル」を実施。初回はなんと70人を超える一般の子どもの参加があり、5人が入隊したそうだ。また、ビーバー隊長が「ビーバーの着ぐるみ」を作製。制服以上のインパクトを与える結果となっている。

### 再度100人超え

こうした活動は、体験参加の人数の増大だけではなく、保護者の口コミ強化や、なんと、隊活動への参加率向上、中途退団防止にもつながっているという。そして、現在はスカウト数が再度100人を超え、如実に成果が出ている。

しかし、この結果だけでは終わらない。「継続は力なり」とこうした取り組みを継続して行うほか、新たに出てきた課題とそれに対する取り組みなども明確に定めており、それを新たに実行しているそうだ。

こうした団全体での本気の取り組みは、起死回生を考えている団のヒントになるのではないかと。

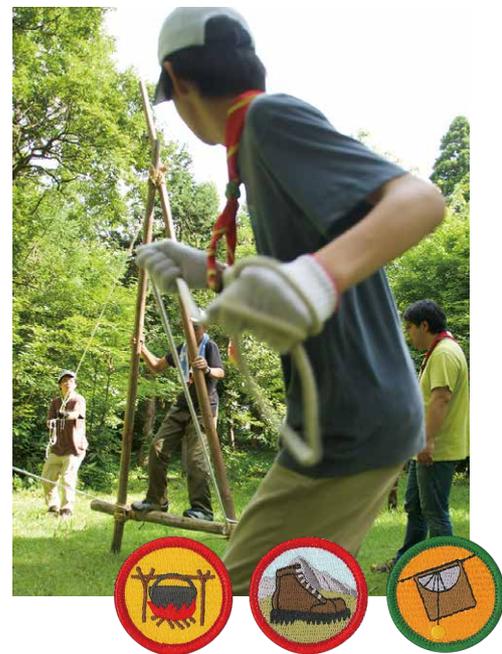


お話を伺った皆さん。活動と並行してのお話をありがとうございました。

移行完了まで1年

# BS・VS新進級課程 「富士スカウトへの道」

新しい進級課程の施行から半年が経ち、最初の上進時期を迎えています。皆さんの隊・団において移行の手続きは開始しているでしょうか。新たな記章や関連書籍の取り扱いもすでに開始していますので、スカウトの上進を前に、今月号では改めて移行の進め方や関連情報についてお知らせします。



## 移行の進め方

### 現状確認

- カブスカウトは、月の輪（初級課目の履修）に取り組み、ボーイ隊への上進・入隊の準備を行います。新たにボーイ隊から入隊する者も同様に初級課目を履修します。
- ボーイスカウトは、現在取り組んでいる進級細目をすべて履修し終えて、1つ上の級を目指します。新進級課程の施行（平成29年9月）以降でベンチャースカウトになる者も同様です。
- 1年以内の移行完了ができない場合は、現在の進級細目の読み替えを行い、新たな課程の同じ級からスタートしますが、進級への意欲を向上させるためにも、できる限り1年以内に移行完了するようご指導ください。

### 進級・上進

- 新たな進級課目（必修課目）への取り組みを始め、班長や隊長のサインをもらいます。また、各級に設定された「キーワード」と「進歩の目標」※を隊の指導にご活用ください。  
※「移行のためのリーダーハンドブック」やスカウティング誌（H29.1月号）をご覧ください。
- 選択課目は、ボーイ隊・ベンチャー隊をとおして技能章に統一しました。審査員による審査のほかには隊長認定による技能章もできたので、積極的な取得が可能になりました。
- ボーイ隊で菊スカウト、ベンチャー隊では隼スカウト・富士スカウトを目指して計画的に進級できるよう、ボーイ隊とベンチャー隊が連携して、スカウトの進級を支援してください。

### 積極的な活動へ

- ボーイ隊ではスカウトとしての基本的な知識や技能を学び、ベンチャー隊ではスキルを活かした冒険的な活動が待っています。2泊3日の移動キャンプや興味のあることを追求するプロジェクトにも挑戦することができます。
- これまでの経験を活かしてさまざまな奉仕の機会にも積極的に関わってください。地域社会や所属県連盟での行事の機会も増えることでしょう。自団のボーイ隊等でジュニアリーダーとしての役割を担当して団や隊を支えることも求められます。

## 書籍の活用について

進級課程の改定に伴い、進級細目の確認と班長・隊長サインを記録するための「スカウト進級手帳（平成29年8月発行）」、各スカウトハンドブックの情報を補うための「進歩の手引き（平成29年10月発行）」を発行しました。年代に応じたスカウトハンドブックと併用してお使いください。

また、菊・隼・富士の面接申請書類を刷新し、日本連盟ホームページに公開しています。個別のフォーマットを活用している県連盟もありますので、申請の際は所属県連盟ホームページ等もご確認ください。



スカウト進級手帳  
品番 610415  
A6判  
260円（税込）



進歩の手引き  
品番 610453  
A6判  
260円（税込）



ボーイスカウト  
ハンドブック  
品番 610330  
A5判  
972円（税込）



ベンチャースカウト  
ハンドブック  
品番 623262  
A5判  
648円（税込）



## よくある質問について

県連盟経由で問い合わせいただいた質問について、進級課程の特別ページにてQ&Aを掲載していますが、その中でよくある質問についてお答えします。



Q

進級において、班長会議での承認や隊長の認証と進級面接を行うが、ボーイ隊の進級目安である1級や菊の進級課目をベンチャー隊で履修した場合、誰が認証や面接を行うのか。



A

これらの手続きは所属する隊で行います。この場合は、隊運営会議での承認とベンチャー隊長の認証と進級面接となります。状況に応じてボーイ隊長に話を聞くなどの協力も必要です。

Q

班や隊活動でロープワークや計測に取り組んだ場合、現在より上位の級の技能を学んでも、サインすることはできないのか。



A

初級から1級の細目については、挑戦中の級よりも上位の課目を履修できますが、2級のハイキングと1級のキャンプ(1級旅行)は該当する級でのみ履修できます。また、1.基本(1)「ちかい」と「おきて」の実践については、その他の細目をすべて履修した後にサインをして、それまでの取り組みを称えてあげてください。

Q

ベンチャー隊から入隊する場合、「6.班長会議」の進級課目に在籍期間を示す月の項目があるが、初級から挑戦すると富士まで間に合わないため、何か配慮はできないか。



A

ベンチャー隊から活動する場合は、初級から1級までの進級については、「6.班長会議」の期間月を削除し(隊運営会議での承認は必要)、停滞なく進級できることとします。

## 技能章の取り組みについて

進級課程の改定に伴い、選択課目は技能章に統一、進級細目や記章の形状を刷新し、これまでに進級課目に関連するものと隊長認定により取得できるもの12個を公開しました。

従来の技能章(四角い形状のもの)についても細目とデザインの見直しを行っており、随時改定を進め、新たな技能章(丸い形状のもの)としてお知らせします。入れ替えについては、従来の技能章

の取得状況、在庫量などを考慮して時期を調整する予定です。

平成29年9月以前にベンチャー隊に在籍しているスカウトは、旧来の進級課程に取り組むことを選択できるため、取得要件としての技能章(野営章、野営管理章、炊事章、救急章)は従来のものを指しますが、それ以外の技能章については新しいものも取得し着用することができます。



日本連盟ホームページ内、こちらの順に進んでください。

HOME → メンバー向け情報 → 青少年プログラム → BS・VSの進級課程の改定





日本連盟創立100周年に向けて

# ボーイスカウト再興への道



1922 - 2022

## シリーズ(2) 加盟員減少の要因を探る

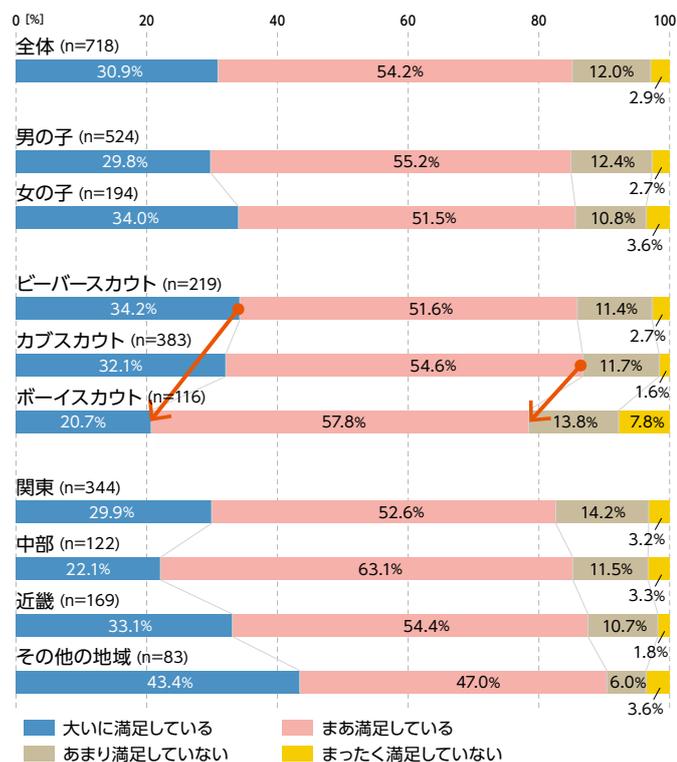
加盟員数を増加して記念すべき100周年を迎えられるよう、全国一丸となってボーイスカウト再興への取り組みを考えていくこのシリーズ。今回は全国の登録人数の状況をいくつかの数値データから見てみました。今回は、スカウトの保護者を対象としたアンケート調査結果から、加盟員が減少している「要因」について考えてみたいと思います。

子どもの入隊、活動継続判断の要となるのはやはり保護者であると想定し、昨年全国のビーバー・カブの保護者(母親)を対象にアンケートを実施しました。その結果(サンプル数718)からいくつか考えてみましょう。

### ボーイスカウト活動の満足度

実際に子どもを参加させている保護者がその活動に満足していれば、中途退団も少なくなるでしょうし、あわせて新たな仲間も獲得できるかと思えます。さて、現状はどのような状況でしょうか。

■ 満足度は85%以上と高いが、所属隊が上がるほど満足度が低くなる傾向



「まあ満足している」を含めると全体で85%が満足している点は高評価です。ただ、「大いに満足している」保護者がビーバーで34.2%、カブで32.1%であるのに比して、ボーイでは20.7%とその割合が大きく低下しています。活動にも慣れて、ボーイスカウト活動の効果のようところが当たり前のようにになっているという面もあるかもしれませんが……

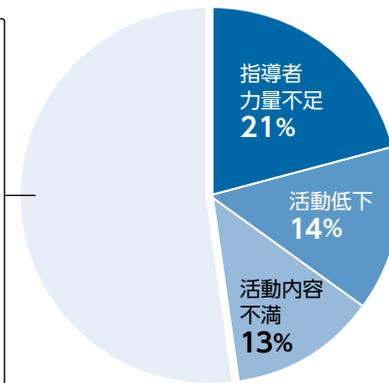
### ボーイスカウトへの不満理由は？

では「不満」と感じている要素は何があるのか見てみましょう。



■ 指導者の力量不足、活動低下、活動内容への不満が不満理由の上位3項目を占める。

- 親の負担が大きい/人数が少ない **6%**
- ガラガラ感 **5%**
- 時代に合っていない/組織問題 **4%**
- 自然活動が少ない **3%**
- お金がかかる/結果が出ない/子どもが楽しくない/時間がない/大人中心/物足りない/連絡不備 **2%**
- 活気がない **1%**
- その他 **7%**
- 特になし **4%**

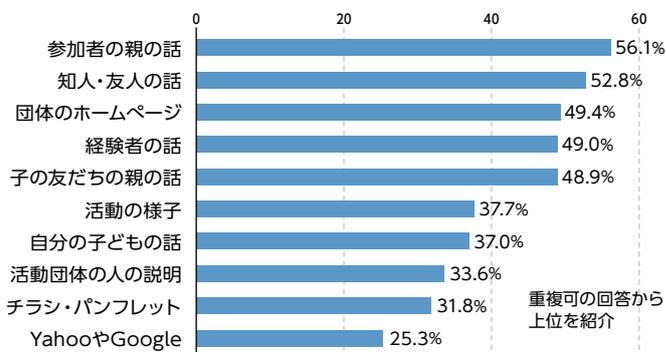


さまざまな不満要素が挙げられた中、「親の負担」や「費用」のことなどもあったものの、「指導者力量不足」「活動低下」「活動内容への不満」といった活動の核となるところへの不満がおよそ不満の上位半数(48%)を占めているところが、加盟員減少(特に中途退団)につながる大きな要因と考えられます。

今回のアンケート回答者はビーバー保護者約30%(219件)、カブ保護者約53%(383件)、ボーイ保護者約16%(116件)の構成比でしたので、ボーイスカウト隊以上の現状分析には十分なデータとはいえないかもしれませんが、こうした傾向はどの部門でも参考になるでしょう。

### 保護者たちの判断材料は？

下のグラフは、「自分の子どもに経験させたい活動への参加を検討する際に参考にするもの」についての回答です。



やはり保護者たちの判断材料となるものは実際に子どもを活動に参加させている人たちの評判であるということが改めてわかります。活動そのものが充実した楽しいものであることはもちろんですが、この活動に参加する価値をスカウトの家族によく理解してもらうための努力もまた大事だといえそうです。

加盟員減少を食い止めるための方策について、引き続き本シリーズで皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

# 平成30年度指導者訓練コース 開設予定一覧

(平成30年2月7日現在)

## ■ウッドバッジ研修所

### スカウトコース

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	北海道	北海道	第2期	5/3~5/6	旭川地区野営場
2	茨城	茨城	第2期	5/3~5/6	大和の森 高秋スカウトフィールド
3	栃木	栃木	第2期	5/3~5/6	栃木県連盟野営場
4	群馬	群馬	第2期	5/3~5/6	前橋市赤城少年自然の家
5	千葉	千葉	第4期	5/3~5/6	未定
6		千葉	第5期	10/5~10/8	香取神社
7		神奈川	第4期	5/3~5/6	御胎内清公園
8		神奈川	第5期	8/25~8/28	村営山中湖キャンプ場
9		神奈川	第6期	10/5~10/8	村営山中湖キャンプ場
10		東京	第5期	4/28~5/1	日向野営場
11		東京	第6期	5/3~5/6	日向野営場
12		東京	第7期	9/14~9/17	日向野営場
13		東京	第8期	10/5~10/8	日向野営場
14	新潟	新潟	第2期	10/5~10/8	五頭連峰少年自然の家
15	富山	富山	第2期	9/14~9/17	岩野青少年自然の家
16	石川	石川	第2期	5/3~5/6	西俣自然教室
17	福井	福井	第1期	5/3~5/6	吉峰寺キャンプ場
18	長野	長野	第2期	9/14~9/17	大町野営場
19		静岡	第4期	5/3~5/6	三島市立箱根の里
20		静岡	第5期	10/5~10/8	太田山野営場
21		愛知	第10期	10/5~10/8	新城・吉川野営場
22		三重	第1期	5/3~5/6	鈴鹿峠自然の家
23		滋賀	第1期	5/3~5/6	浅柄野野営場
24		京都	第2期	5/3~5/6	浅河原野営場
25		兵庫	第3期	5/3~5/6	牧野キャンプ場
26		兵庫	第4期	10/5~10/8	兵庫県立姫野台生涯教育センター
27		奈良	第1期	5/3~5/6	はやまの森野営場
28		和歌山	第1期	5/3~5/6	和歌山県立紀北青少年の家
29		愛媛	第3期	5/3~5/6	松山市野外活動センター
30		福岡	第5期	5/3~5/6	臨山野営場
31		九州・沖縄	第6期	10/5~10/8	臨山野営場
32		沖縄	第7期	11/22~11/25	源野野営場

### 課程別研修

1	北海道	北海道	第2回	8/26	北海道ボーイスカウト会館
2	茨城	茨城	第2回	5/27	土浦市青少年の家
3	群馬	群馬	第2回	10/21	群馬県青少年会館
4	埼玉	埼玉	第1回	3/17	未定
5	千葉	千葉	第3回	6/17	千葉県立東金青年の家
6		千葉	第4回	11/18	未定
7		神奈川	第4回	5/20	神奈川スカウト会館
8		神奈川	第5回	9/9	神奈川スカウト会館
9		神奈川	第6回	10/21	神奈川スカウト会館
10		東京	第3回	6/3	国立オリンピック記念青少年総合センター
11		東京	第4回	10/21	国立オリンピック記念青少年総合センター
12		石川	第1回	6/24	野々市市富奥防災コミュニティセンター
13		長野	第2回	10/28	あがたの森文化会館
14		静岡	第4回	5/21	清水和田島自然の家
15		静岡	第5回	10/21	清水和田島自然の家
16		愛知	第4回	10/28	未定
17		兵庫	第2回	11/4	明石市生涯学習センター分室
18		大阪	第3回	5/13	大阪スカウト会館
19		岡山	第2回	5/12	岡山市立津高公民館
20		広島	第1回	5/20	カトリック観音町教会
21		福岡	第1回	5/13	新宮コミュニティセンター そびあしんぐう
22		福岡	第2回	10/21	新宮コミュニティセンター そびあしんぐう
23		大分	第1回	6/3	大分市
24		沖縄	第1回	12/23	沖縄県連盟事務局
1	北海道	北海道	第2回	9/9	北海道ボーイスカウト会館
2	茨城	茨城	第2回	5/27	土浦市青少年の家
3	栃木	栃木	第1回	9/16	未定
4	群馬	群馬	第2回	10/21	群馬県青少年会館
5	埼玉	埼玉	第1回	3/17	未定
6	千葉	千葉	第3回	6/17	千葉県立東金青年の家
7		千葉	第4回	11/18	未定
8		神奈川	第4回	5/20	神奈川スカウト会館
9		神奈川	第5回	9/9	神奈川スカウト会館
10		神奈川	第6回	10/21	神奈川スカウト会館
11		東京	第3回	6/3	国立オリンピック記念青少年総合センター
12		東京	第4回	10/21	国立オリンピック記念青少年総合センター
13		富山	第2回	10/14	二上まなび交流館
14		石川	第1回	6/24	野々市市富奥防災コミュニティセンター
15		福井	第1回	6/10	福井県生涯学習館
16		長野	第2回	10/28	あがたの森文化会館
17		静岡	第4回	5/20	清水和田島自然の家
18		静岡	第5回	10/21	清水和田島自然の家
19		愛知	第5回	10/28	未定
20		三重	第1回	6/17	津市青少年野外活動センター
21		京都	第2回	5/27	京都連盟事務局会議室
22		兵庫	第2回	6/3	神戸国際大学附属高等学校
23		奈良	第1回	11/4	はやまの森野営場
24		和歌山	第1回	6/10	和歌山県立紀北青少年の家
25		大阪	第3回	10/14	大阪スカウト会館
26		岡山	第2回	5/20	岡山市立津高公民館
27		広島	第1回	5/20	カトリック観音町教会
28		山口	第2回	6/24	未定
29		愛媛	第2回	6/3	愛媛県生涯学習センター
30		福岡	第1回	5/20	新宮コミュニティセンター そびあしんぐう
31		福岡	第2回	10/21	新宮コミュニティセンター そびあしんぐう
32		大分	第1回	10/28	大分市
33		沖縄	第1回	1/27	沖縄県連盟事務局
1	北海道	北海道	第2回	6/10	北海道ボーイスカウト会館
2	茨城	茨城	第2回	5/27	土浦市青少年の家

3	栃木	栃木	第1回	10/28	那須野営場
4	群馬	群馬	第2回	6/17	群馬県青少年会館
5	埼玉	埼玉	第1回	3/17	未定
6	千葉	千葉	第3回	6/17	千葉県立東金青年の家
7		千葉	第4回	11/18	未定
8		神奈川	第4回	5/20	神奈川スカウト会館
9		神奈川	第5回	9/9	神奈川スカウト会館
10		神奈川	第6回	10/21	神奈川スカウト会館
11		東京	第3回	6/10	国立オリンピック記念青少年総合センター
12		東京	第4回	10/28	国立オリンピック記念青少年総合センター
13		富山	第1回	10/14	二上まなび交流館
14		長野	第2回	10/28	あがたの森文化会館
15		静岡	第4回	5/20	清水和田島自然の家
16		静岡	第5回	10/21	清水和田島自然の家
17		愛知	第6回	10/28	未定
18		三重	第1回	6/10	津市青少年野外活動センター
19		滋賀	第1回	5/20	未定
20		京都	第1回	10/28	京都連盟事務局会議室
21		兵庫	第2回	6/3	明石市生涯学習センター分室
22		兵庫	第3回	11/4	姫路市勤労市民会館
23		和歌山	第1回	10/14	和歌山県立紀北青少年の家
24		大阪	第3回	5/13	大阪スカウト会館
25		岡山	第2回	5/13	岡山市立津高公民館
26		広島	第2回	5/20	カトリック観音町教会
27		山口	第2回	6/24	未定
28		愛媛	第1回	6/17	愛媛県生涯学習センター
29		福岡	第1回	5/13	新宮コミュニティセンター そびあしんぐう
30		福岡	第2回	10/21	新宮コミュニティセンター そびあしんぐう
31		沖縄	第1回	2/24	沖縄県連盟事務局
1	北海道	北海道	第2回	7/8	北海道ボーイスカウト会館
2	茨城	茨城	第2回	5/27	土浦市青少年の家
3	群馬	群馬	第2回	6/17	群馬県青少年会館
4	埼玉	埼玉	第1回	3/17	未定
5	千葉	千葉	第3回	6/17	千葉県立東金青年の家
6		千葉	第4回	11/18	未定
7		神奈川	第4回	5/20	神奈川スカウト会館
8		神奈川	第5回	9/9	神奈川スカウト会館
9		神奈川	第6回	10/21	神奈川スカウト会館
10		東京	第3回	6/10	国立オリンピック記念青少年総合センター
11		東京	第4回	10/28	国立オリンピック記念青少年総合センター
12		長野	第2回	10/28	あがたの森文化会館
13		静岡	第3回	5/20	清水和田島自然の家
14		静岡	第4回	10/21	清水和田島自然の家
15		愛知	第4回	10/28	未定
16		滋賀	第1回	10/28	未定
17		奈良	第1回	6/3	奈良県社会福祉総合センター
18		大阪	第2回	10/14	大阪スカウト会館
19		岡山	第2回	5/13	岡山市立津高公民館
20		福岡	第1回	5/20	新宮コミュニティセンター そびあしんぐう
21		福岡	第2回	10/21	新宮コミュニティセンター そびあしんぐう
22		沖縄	第1回	3/24	沖縄県連盟事務局

### ■スカウトコース + 課程別研修 (一括開設)

1	宮城	宮城	第1期	10/5~10/8	石巻市河内旭山農業体験実習館コロボックルハウス
2	茨城	茨城	第3期	10/5~10/8	土浦市青少年の家
3	埼玉	埼玉	第4期	5/3~5/6	那須野営場 (BS・VS 課程のみ)
4	埼玉	埼玉	第5期	10/5~10/8	那須野営場 (CS・VS 課程のみ)
5	岐阜	岐阜	第2期	5/3~5/6	富加の森野営場
6	愛知	愛知	第6期	5/3~5/6	新城・吉川野営場 (BS・CS 課程のみ)
7	愛知	愛知	第7期	5/3~5/6	新城・吉川野営場 (BS・VS 課程のみ)
8	大阪	大阪	第4期	5/3~5/6	キャンプおおさか (CS 課程のみ)
9	大阪	大阪	第5期	5/3~5/6	キャンプおおさか (CS 課程のみ)
10	大阪	大阪	第6期	5/3~5/6	豊中市立青少年自然の家「わっばる」 (BS・VS 課程のみ)

### ■回委員研修所

1	宮城	宮城	第11期	4/28~4/30	宮城県連盟事務局
2	栃木	関東	第21期	11/23~11/25	那須野営場
3	千葉	千葉	第28期	11/23~11/25	千葉県立東金青年の家
4	神奈川	神奈川	第33期	4/28~4/30	川崎市青少年の家
5	東京	東京	第31期	5/3~5/5	国立オリンピック記念青少年総合センター
6	静岡	静岡	第26期	9/15~9/17	清水和田島自然の家
7	愛知	愛知	第39期	11/23~11/25	新東工業技能安全研修センター
8	兵庫	兵庫	第26期	11/23~11/25	兵庫県立総合体育館
9	福岡	九州・沖縄	第9期	2/1~2/3	国立後須高青少年自然の家
10	沖縄	九州・沖縄	第10期	2/9~2/11	沖縄県立糸満青少年の家

### ■コミッション研修所

1	青森	青森	第4期	10/6~10/8	岩木青少年スポーツセンター
2	山梨	関東	第30期	11/9~11/11	山梨県立青少年センター
3	静岡	静岡	第14期	9/22~9/24	国立中央青少年交流の家
4	奈良	奈良	第4期	10/6~10/8	天理大学体育学部キャンパス

### ■ウッドバッジ実修所

No	課程	期数	期間	場所
1	B V S	第42期	5/3~5/6	太田山野営場 (静岡)
2		第167期	5/3~5/6	五頭連峰少年自然の家 (新潟)
3	C S	第168期	10/5~10/8	村営山中湖キャンプ場 (山梨)
4		第195期	5/3~5/6	那須野営場 (栃木)
5	B S	第196期	9/21~9/24	日向野営場 (千葉)
6		第197期	10/5~10/8	新城・吉川野営場 (愛知)
7	V S	第30期	11/22~11/25	臨山野営場 (福岡)

### ■回委員実修所

No	期数	期間	場所
1	第22期	11/23~11/25	川崎市青少年の家 (神奈川)
2	第23期	11/23~11/25	新城・吉川野営場 (愛知)
3	第24期	11/23~11/25	山梨県立青少年教育センター 関谷学校 (山梨)
4	第25期	11/23~11/25	鹿児島県連盟野営場 (鹿児島)

### ■副リーダー・トレーナーコース

1	第62期	6/6~6/10	未定
---	------	----------	----

### ■リーダー・トレーナーコース

1	第37期	6/20~6/24	未定
---	------	-----------	----

報告

# 平成29年度日韓スカウト交歓計画

平成11年度より15年間実施してきた「日韓スカウト交歓計画」。日韓両国の相互理解を深め、さらに良好な関係を築くべく平成27年度に再開し、今回は再開3年目の開催となりました。昨年に続き、今年も九州でプログラムを行いました。寒い天候にも負けないくらい熱い交流と日本の自然や文化の体験、ホームステイの内容をご紹介します。



**【期間】** 1月6日(土)～14日(日)  
9日間

**【場所】** 福岡・福岡市、宗像市、北九州市  
大分・別府市、玖珠郡

**【人数】** 韓国連盟参加者(スカウト36人、  
指導者4人) 計40人  
日本連盟参加者(交流プログラム  
参加) 計41人  
スタッフ(交流プログラム奉仕者お  
よび全行程の同行者) 計28人

**【日程】** 1月6日(土)～8日(月)  
日韓スカウト交流プログラム  
1月8日(月)  
福岡スカウトフェスティバル  
1月9日(火)～12日(金)  
韓国派遣団見学プログラム  
1月12日(金)～14日(日)  
ホームステイ

## ■日韓スカウト交流プログラム

韓国派遣団が福岡空港から主会場へ向かう移動中の関心の的は、初めて食べた「おにぎり」。到着早々に日本食文化の体験になりました。主会場である宗像市のグローバルアリーナで日本の参加者と対面し、3日間にわたる日韓スカウト交流プログラムがスタートしました。

交流プログラムでは日韓混成グループを作り、



グループごとにスカウト技能を必要とする課題に取り組むことで両国のスカウト活動についての違いや共通点に気づけたほか、両国の参加者が出しものを披露してお互いの文化を知ることができました。また、参加者一人ひとりが

「自分の夢」と、その夢を達成するために作成した「プロジェクト」について、同じグループのメンバーだけではなく、多くの参加者と共有しました。

交流プログラム閉会后、両国のスカウトは福岡市内に場所を移して福岡県連盟主催の「福岡スカウトフェスティバル」に参加し、フェスティバルに参加していた福岡のビーバースカウトやカブスカウトとも交流。ロープ結びを教えたり、一緒にロープを繋いでひとつの「友情の輪」を作ったりし、韓国のスカウトは K-POP ダンスや国技であるテコンドーも披露してくれました。

なお、交流プログラムは、福岡県連盟をはじめ、神奈川連盟、長崎県連盟のローバースカウトが中心となって企画や準備、運営しました。

## ■韓国スカウト各地見学・ホームステイ

交流プログラムの後、韓国スカウトは各地の見学とホームステイ。「太宰府天満宮」や「九重“夢”大吊橋」、「別府地獄めぐり」など、福岡県と大分県の名所を訪れ、日本の自然や環境への取り組みなどを体感しました。

また、立命館アジア太平洋大学ローバースとの交流や、久留島秀三郎第5代総長の父・久留島武彦氏の記念館を訪問。さらに、大分県玖珠町立塚脇小学校の児童や福岡県玄海高等学校の生徒とも交流しました。

交歓計画はホームステイで締めくくりました。福岡県内のホスト家族に迎えられ、それぞれの家庭で日本の生活・文化などに触れる2泊3日を過ごしました。



## ■参加スカウトの声 (抜粋・要約)



日本スカウト

- 初めて韓国の友だちができた。次は私が韓国に行きたい。
- 国を超えた活動にあまり興味がなかったが、今後はさまざまなプログラムに参加したいと思う。
- 正しい英語だけにとらわれず、伝え方やニュアンスを変える柔軟さの重要性を感じた。
- もっと交流の時間がほしかった。文化交流だけでなく、スカウト技能を磨くこともできた。



韓国スカウト

- もっと日本のスカウトと話す時間がほしい!
- 今回がきっかけで、韓国と日本の関係をもっと深めることができ、より理解が深まった。
- ホームステイがとてもよく、日本の文化を知る特別な経験だった。とても貴重な時間になったので、このプログラムに参加したことは忘れられない。

## 春一番 風に遊ぶ

南国・沖縄では旧暦2月頃の風を古くから「ニイガチカジマワリ」と呼び、数時間ごとに東西南北のあらゆる方角から風が吹き荒れ、島の周りの海は白波が立つほどに時化はじめる。

その同じころ、沖縄と東北・北海道を除く日本各地では、春のおとずれを告げる「春一番」が、立春から春分の間に風速8m/s以上の強い南風となって、満開のソメイヨシノの花びらを桜吹雪に散らせて、公園の緑の芝生を薄桃色に変える。

この季節「春一番」は、時に風速10m/sを超える突風となって、花見の宴席、もしくは多くのキャンプサイトを襲い、ほろ酔い気分の人々や多くのキャンパーたちを困らせる。

こんなとき、私たち外遊びの達人はあわてずロープとタープの天幕をサツと手にとり、さりげないロープワークとタープ張りをチョチョイと、あくまでもさりげなく素早く、まわりに迷惑をかけないように(ここが大切)完璧に強風をさえぎり、快適空間を創り上げるのである。

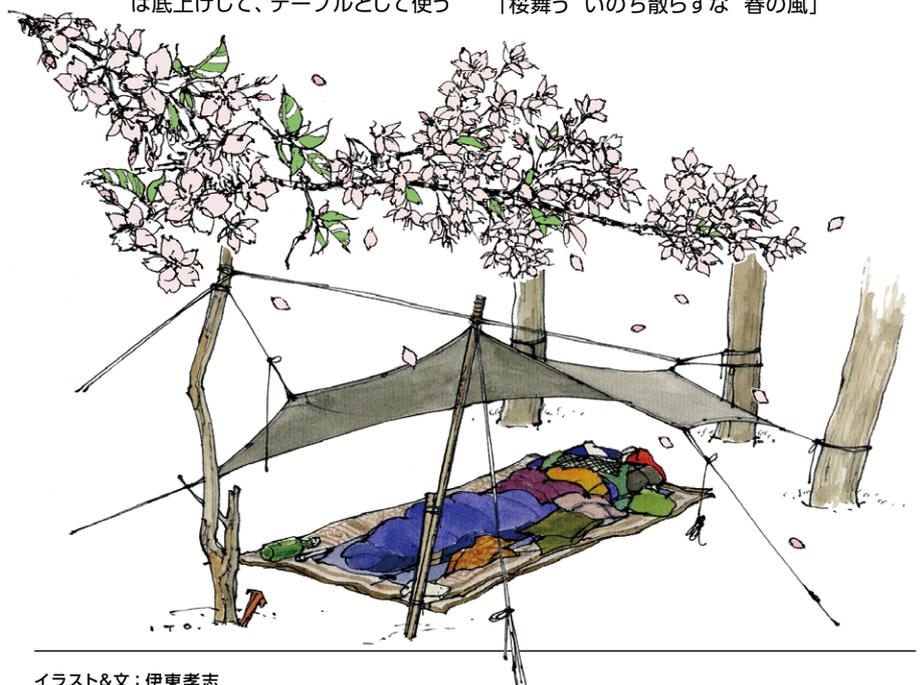
そうそう、風が吹く中での食事においても、食べ物や飲み物の地べたベタ置きは厳禁だ。地表10~20cmの高さは少しの風でも砂ぼこりが漂い舞い散る世界で、春一番が吹こうものなら、美味しい料理すべてがアツという間に、ザラザラ・ガリガリの砂漠風味になってしまうのだから。そうならないためにダンボールでも組み立てて、最低でも20cm以上は底上げて、テーブルとして使う



ことをお勧めする。またダンボールは広げて立てれば簡易風除けに、床に敷いてグランドシート代わりに、また最後の片づけ撤収の際は整理整頓やゴミ箱代わりにと大活躍する。

桜吹雪を楽しむタープのみのキャンプサイトでの地べたゴロ寝床スタイルでは、風が吹く側のタープを下げ低く張るのはもちろん、風側にバッグ類を積み重ね風除けにすると温かい。春一番の南風が吹く日は気温が一気に上昇するが、その南風がおさまる翌日などは「寒の戻り」となり、冷え込んで急激に寒くなる場合がある。この季節ではスリーシーズンシュラフではまだまだ肌寒く、温かい冬用寝袋が必要なのだ。

またこの季節は、多くの雪が残る春の山岳地において、そんな急激な気温の変化によって融雪による雪崩なだれが起きやすくなるので、風吹く日は特に注意が必要である。  
「桜舞う いのち散らすな 春の風」



イラスト&文：伊東孝志

いとうかし / 南国・無人島へのシーカヤック放浪旅をこよなく愛する、奄美大島生まれの小学56年生。ヤドカリを人生の師と仰ぎ、筆先に北斎を見つめ、水彩の染描(らくがき)を糧として、奄美・沖縄~東京を拠点にアウトドアライフな、古今東西南北の日々を漂流する。  
●伊東孝志ブログ「道草染描/みちくさらくがき」~ <http://michikusa-rakugaki.blogspot.com/>

ローカルホットライン

# Local Hot Line

●……団  
 □……地区  
 ■……都道府県連盟  
 ◇……その他

団・地区・都道府県連盟だより

## 石川 □ 緑の募金を市民に還元

羽咋第5団 団委員長 濱名 路房

北陸中日新聞(2017.11.24)

2017年11月23日(木・祝)に街頭募金(緑の募金)を利用して、ボーイスカウトと市民グループ「フラワーメイト」とで、JR羽咋駅前や構内において鉢植えに花を植えました。活動の様子が新聞に掲載されました。

羽咋市の市民グループ「フラワーメイト」と、ボーイスカウト羽咋第五団は、二十三日、JR羽咋駅前のプラントの花の苗を植え替え、羽咋の玄関口の彩りを豊かにした。ボーイスカウト団員が今年の「みどりの日」に羽咋市のスーパードルで募金活動をして市民から寄せられた善意をフラワーメイトに託し、花の苗を購入した。苗植えには、会員と団員の親子ら十五人が参加し、四十個のプランターにヒオラヤやパンジー、ツリー状のゴールドクレストをバランスよく植えて配置。赤や黄、紫色の花が駅の利用者を迎えるように風に揺れた。

フラワーメイト、ボーイスカウト

## 善意の苗 羽咋駅前に

列車を知らせるメロディーに歌手一青窈さんの「ハナミズキ」が使われていることになんで、近々ハナミズキの苗木も購入し、駅ホームの一角に植える。フラワーメイトの活動には、駅前で客待ちをするタクシー運転手も水やりで協力している。

ボーイスカウトの浜名路房団委員長は「町をきれいにし、募金していただいた方に目に見える形で還元できて良かった。フラワーメイトの浅野由美子代表は「子供たちと一緒にできるのがうれしい」と話した。

(小塚泉)



色とりどりの花の苗で駅前を彩る団員ら＝JR羽咋駅で

## 神奈川 □ 第8回鎌倉国際交流ハイキング

鎌倉第2団 ベンチャー隊隊長 安部 秀

「鎌倉国際交流ハイキング」は、当団の企画と運営により、日米スカウトたちが国内で国際交流活動を体験できる行事として2009年から継続して実施しています。第8回の今回は、2017年12月2日(土)に鎌倉市内で開催しました。

今回の参加隊は、アメリカからFECアジア東地区 Pack 15 (St.Mary's International School 隊)。また、埼玉県連盟、東京連盟、静岡県連盟、神奈川連盟の4県連盟から

10こ団を超える参加があり、スカウトと指導者総勢約200人が集まりました。

ハイキングでは、国も団も混ぜた国際混成組に分かれて活動。鎌倉最古の厄除け神社である八雲神社から鎌倉の名所をたくさん巡りました。ローバーとベンチャーによる多角的な国際交流プログラムが展開されたほか、オーストラリアのスカウト交歓留学生やインドネシア出身の指導者が参加するなど、大変盛り上がった催しとなりました。

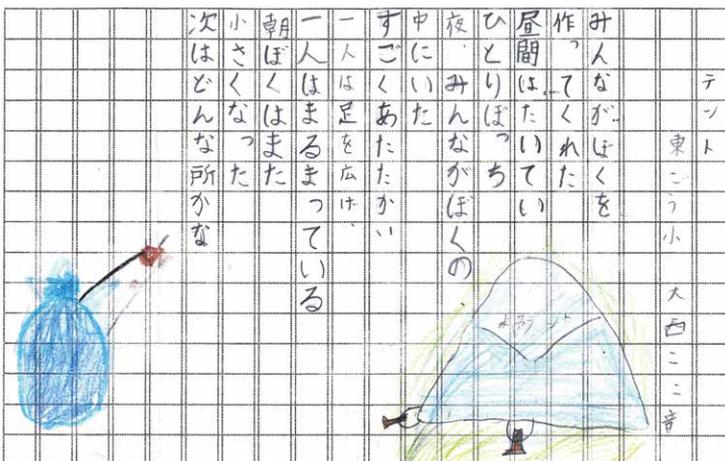
スカウトたちは相互理解を通じて友情を育み、活動が世界平和に繋がることを学ぶ機会になったと思います。今後も継続して開催し、楽しい国際交流プログラムを展開していこうと考えています。



## 福井 □ テントの気持ち

福井第2団 カブ隊隊長 柿畑 桂子

当団のうさぎスカウトが学校で書いた、かわいらしい詩です。テントの気持ちになって書いています。



「テント」福井第2団 大西 梢々音

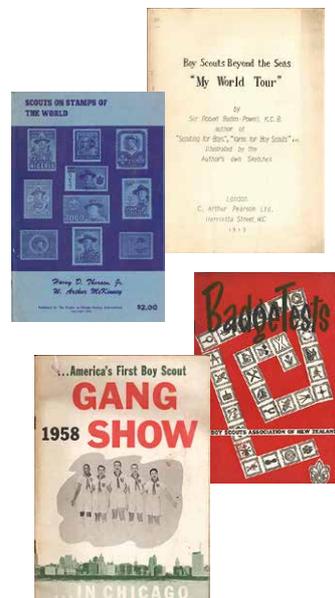
## 日本 ◇ 貴重資料を寄贈されました

日本連盟事務局

2017年12月に、東京・江東区にある「古書骨董くまねこ堂」からスカウトミュージアム・スカウトライブラリーへ村山 有氏関連資料などが寄贈されました。

村山氏は、戦前戦後を通じてボーイスカウト運動に尽力、特に戦後日本のボーイスカウト運動の再建に貢献し、日本連盟の理事や相談役に就任いただいた方です。

寄贈された資料は1950年代後半の各国のスカウト活動紹介冊子や名簿、1957年の新聞記事、1967年の切手など。半世紀前の大変貴重な資料です。



## 茨城 歌の発表「キャロリング」

水戸第5団 ビーバー隊隊長 満仲 聡之

2017年12月23日(土・祝)、水戸市内の大型商業施設のイベント広場で、クリスマスの歌の発表「キャロリング」を行いました。水戸第5団のビーバー隊からボーイ隊までのスカウトと指導者たち、育成団体とその関係幼稚園の園児とともに、総勢100人ほどのメンバーでクリスマスの歌を街中に響かせます。地域の他団体と力を合わせて続けてきた「キャロリング」も10年以上がたち、スカウトの指揮でオリジナルの歌を演奏するまでに至りました。

オープンスペースで演奏するのですが、スカウトたちが緊張感のあるステージをとおして年々成長していくことが分かります。寒い中、多くの方が足を止めて聴いてくださりありがたく思います。今後も、地域の中で地域の人たちとともに取り組む「見える形」での活動を続けていきたいと考えています。



## 鹿児島 島津斉彬の言葉 「子どもは国の宝」

日置第1団 団委員長 西 幸司

私たちが活動する鹿児島県日置市は、明治維新の立役者「西郷隆盛」ゆかりの地です。本年1月7日(日)よりNHK大河ドラマ「西郷どん」の放送も始まりましたが、当団では、『「西郷どん」に会いに行こう!』をテーマに「ぶらり 坊野あるきマップ」を利用して、島津藩を知る活動を行いました。郷土でゆかりの地を散策して、スカウトたちもリーダーシップを身につけてもらえたかと思えます。

さて、先日、鹿児島県観光プロデューサーの古木圭介さんによる講演「日本の若者たちへ」なぜ今リーダーが必要なのか」を聴いてきました。国際感覚をもつ青少年を育てるために、南九州から海外への交換留学生を送るプログラムを展開されているそうで、『日本エリートはズレている(道上 尚史著)』、『武士道(新渡戸 稲造著)』、『旧制高校 真のエリートのつくり方(喜多 由治著)』、『幼児化する日本は内側から壊れる(榊原 英資著)』を参考に語られました。指導者皆さんの参考になるのでは。



# 「清流の国ぎふ」 平成30年度 全国大会

テーマ **Creating a Better World**  
(より良い世界を創ろう)

～活動的で自立した青少年を育てよう!!～

※岐阜県連盟からの要請より、「清流の国ぎふ」の冠をつけることとした(平成24年開催の国体以降、岐阜県では「清流の国ぎふ」を商標登録し、広く県民が利用していくこととなっている)

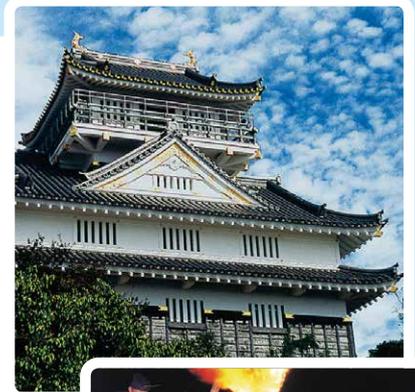
全国大会は、社会への本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として開催いたします。

参加者が全国の多くの仲間と触れ合うことによって、本運動に関わっている喜びを実感し、意義を分かち合い、また、日本連盟や都道府県連盟の報告や展示、年次表彰のほか、全国の指導者によるスカウト運動推進に向けた各種研修、情報交換や懇親の場を設け、幅広くスカウト関係者からの意見・要望を聞くことで、さらに開かれた教育運動を目指していきます。

岐阜県におけるボーイスカウト教育の始まりは、大正6(1917)年に「加納少年団」が創立され、大正12年にボーイスカウトのスカウティングを採用し、活動を始めました。昭和13(1938)年に「少年団岐阜県連盟」を結成し、戦後に日本連盟が再結成されたときの1、2番の登録が岐阜県連盟の隊です。

織田信長公が「岐阜」と命名して450年が過ぎた「歴史ある岐阜市」で開催いたします全国大会に多くの皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

ボーイスカウト岐阜県連盟



### ■日程

平成30年5月26日(土)～27日(日)

### ■場所

岐阜市

■主会場/長良川国際会議場(〒502-0817 岐阜市長良福光2695-2) ■交歓会/岐阜都ホテル(〒502-0817 岐阜市長良福光2695-2) ■主催/公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 ■開催県連盟/日本ボーイスカウト岐阜県連盟 ■後援/岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜市、岐阜市

教育委員会 ■協力/陸上自衛隊第10師団音楽隊、岐阜県ユニセフ協会、ガーバーサカイ(株)、(株)マルエイ、中部事務機株式会社、テックミズノ(株)

### 参加者/どなたでも参加できます

①ボーイスカウト指導者・役職員(隊長、団委員長、地区コミッショナーの参加を期待します) ②スカウトの保護者、育成会員、スカウトクラブ会員等 ③ローバースカウト ④行政関係者、他団体関係者 ⑤一般市民、県内の青少年、その他

■大会参加費/ ¥3,000- (資料および記念品代含む) ※スカウティングエキスポは、一般向けに無料開放します

■交歓会参加費/ ¥10,000- (5月26日18:30～を予定)

### スカウティングエキスポ(展示、体験コーナー他)

5月26日(土)～27日(日) ※団体、個人の出展を広く公募します

## 日本連盟情報 Mar. 2018

## 2月中旬までの会議・研修など

## 12月

- 11日(月) ● 財務委員会(第4回)
- 16日(土) ● 第17回日本スカウトジャンボリー実行委員会(第9回)
- 17日(日) ● 第17回日本スカウトジャンボリーサブキャンプチーフ会議(第3回)
- ICTタスクチーム会議(第3回)
- 22日(金) ● 平成29年度スカウト特別海外派遣 任命式
- 24日(日) ● 平成29年度CJKプロジェクト・バンクラデッシュ派遣事前集会(第1回)
- 中途退団抑止タスクチーム会議(第1回)
- 25日(月) ● 第17回日本スカウトジャンボリー信仰奨励プログラム打ち合わせ会(第1回)
- 社会連携・広報委員会(第3回)
- 25日(月)～1月4日(木)
- 第5回インターアメリカ地域リーダーシップ研修派遣

## 1月

- 6日(土)～14日(日)
- 平成29年度日韓スカウト交歓計画
- 7日(日) ● コミッショナー活動活性化検討タスクチ

- ーム会議(第7回)
- 9日(火) ● 運営会議(第8回)
- 13日(土)～14日(日)
- 平成29年度スカウトソングワークショップ
- 16日(火) ● 臨時理事会(第2回)
- 18日(木) ● 100周年記念史編纂委員会(第8回)
- 19日(金) ● 信仰奨励委員会(第4回)
- 20日(土) ● 第17回日本スカウトジャンボリー配給・食堂専門部会(第4回)
- 第17回日本スカウトジャンボリー売店専門部会(第1回)
- 中途退団抑止タスクチーム会議(第2回)
- 20日(土)～21日(日)
- 全国県連盟コミッショナー会議(第3回)
- 21日(日) ● 第17回日本スカウトジャンボリープログラム専門部会(第2回)
- 27日(土) ● 県連盟代表者会議(第2回)
- 第17回日本スカウトジャンボリー広報専門部会(第2回)
- 平成30年度ウッドバッジ実修所・団委員長実修所所長・主任所員会議
- 平成30年新年賀詞交歓会
- 27日(土)～28日(日)
- 平成29年度CJKプロジェクト・バン

- ラデッシュ派遣事前集会(第2回)
- 28日(日) ● 国際委員会(第4回)
- BVS部門検討タスクチーム会議(第1回)
- 31日(水) ● スカウトと社会をつなぐ場所(第6回)

## 2月

- 3日(土) ● プログラム委員会(第4回)
- スカウトソング特別委員会(第3回)
- 第17回日本スカウトジャンボリー安全・救護専門部会(第4回)
- 4日(日) ● 団支援・組織拡充委員会(第5回)
- 4日(日)～25日(日)
- 平成29年度トレーナー研究集会(全国11会場)
- 6日(火) ● 日本連盟創立100周年記念事業準備委員会(第6回)
- 運営会議(第9回)
- 7日(水) ● 防災危機管理タスクチーム会議(第5回)
- 10日(土) ● 第17回日本スカウトジャンボリー輸送専門部会(第2回)
- 「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会(第4回)
- 12日(月) ● 指導者養成委員会(第4回)
- 13日(火) ● スカウトと社会をつなぐ場所(第7回)

## スカウティングの 知っててちょっと良い話 No.47

ボーイスカウト日本連盟常務理事 吉田 俊仁

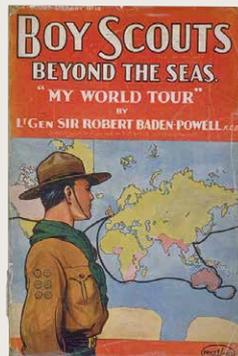
## B-Pの日本見聞録

今月号は、B-Pが1913(大正2)年に出版した、『BOY SCOUTS BEYOND THE SEAS. "MY WORLD TOUR"』について少しお話しします。この本はB-Pの世界一周旅行の紀行です。日本についても、日本人の気質や武士道にいたるまで述べられています。

第4章「日本」では日本に到着したときの印象から始まり、「柔術」/「舟のあやつり方」/「家庭における日本人」/「寺院」/「騎士道」(※日本の武士道について) / 「最も偉大な日本の将軍乃木伯爵」(※日露戦争での乃木将軍について) / 「四十七人の浪人の話」(※赤穂浪士の討ち入りについてかなり詳しく紹介)というタイトルで、自分の知識や日本で聞いた話や印象をもとに興味深く記述しています。

来日は1912(明治45)年4月(4月2日という説、16日という説がある)の桜の季節でした。B-Pは夢の中での聖ペテロの啓示(美と驚異に満ちたあの国を知らずして、地の一角に座っているのは意味がない。これは神命です。行って見てきなさい)を受けて、日本を訪問したといわれます。さてB-Pは世界に日本をどのように伝えたのでしょうか？

昭和38年発行の「スカウティング」1～3月号に、この本の第4章の翻訳が掲載されていますので、ここから要約してごく一部ですが紹介します。



『BOY SCOUTS BEYOND THE SEAS. "MY WORLD TOUR"』

——日本という国は、微笑みを浮かべた平和な国であるという事を知っているけれど、我々の掴んだ最初の印象は、日本は美しいだけでなく強い力を持っているということであった。

私は横浜のスカウトたちが私を迎えに来たことを知った(※英国人グリフィンが1911年18名で組織し、国際登録をしていた。当時、日本人スカウトはいない)。日本人の人々はすでに自分たちの学校や家庭においてスカウト訓練をやっている。彼らは皇帝(天皇)と国家に忠誠であることが、第1のデューティであることを知りそして自分自身を強健で勇敢に男らしくすることを学んでいる。少年も成人もこの考え方をみな実行にうつしている。彼らがロシアとの戦役において現した驚くべき勇敢から、我々にはこのことが分かるのである。多くの人々が毎日、竹の「しない」で剣術を稽古したり、柔術を稽古して体を鍛えている。柔術ではどうして相手を投げるかを学ぶのであるが、もうひとつ大事なことは自分が投げられたとき、楽に倒れる方法がそれである。

私は日本の少年が幼児に対して、とても親切なのに気付いた。背中に赤ん坊をくくりつけておんぶしたりする。

日本人の家はみな美しく清潔であり木としくいできていて、部屋にはドアがない。隣室に入るには区切の壁の部分(※襖、障子のことをいっている?)をすべらせてあけるのである。彼らはテーブルやイスやベッドを用いない。床を使い、床は編んだ草のマットでおおわれている。京都では一つの町だけに900以上の寺がある。寺そのものは堅い木材をつかい、彫刻したり金箔をはったり、漆を塗って作るのである。——次号は乃木希典<sup>まろすけ</sup>についての話です。

※=筆者注

信仰奨励

新年度に向け、  
B-P のことばを噛みしめよう

信仰奨励委員会 石神明

新しい年度を目前にして、あらためて原点に立ち返り、心を新たにするために、B-P のことばからいくつかを選びました。もう一度読み込んで心に留めておきたいと感じたものです。

◆万一、一日一善を忘れてたら、次の日に善いことを二つしたまえ。スカウトのちかいいよって名誉にかけてするのだということをお忘れてはいけない。しかし、スカウトは、一日一善だけすればそれでよいと考えてはならない。一つはしなければならぬが、もし50もできるならそれは多いほどよいのだ。(『スカウティング フォア ボーイズ』)

◆スカウトのモットーは、そなえよつねにであるが、それは自分の義務を果たすための準備が、精神的にも肉体的にもいつでもできているということだ。

精神的なそなえよつねにとは、いつも命令に従う訓練ができていて、また、起こりそうな事故、ありそうな事態をあらかじめ手落ちなく考えて、そのような時に出会ったら、その時にうつべき正しい方法を知っていて、それを実行する心構えがあることだ。

肉体的なそなえよつねにとは、適切な時に正しい行動がとれるように、強くて敏活に動ける体しておくこと、そして実際に正しい行動をすることだ。(『スカウティング フォア ボーイズ』)

◆隊長はただボーイマンになることができればよい。すなわち

- (1)隊長は自分の中に少年の精神を持っていなければならない。そして、その第一歩として自分自身を少年と同じ立場に置くことができなければならない。
- (2)隊長は少年期の異なった年齢の欲求、展望、願望を知っておかねばならない。
- (3)隊長は集団としてよりもむしろ個人として少年を扱わねばならない。
- (4)そして隊長は最高の成果を得るために隊員たちの中に協力の精神を養わねばならない。(『隊長の手引き』)

◆権限と責任が本当に班長の手委ねられている隊は最良の進歩を遂げる。これがそれがスカウト訓練が成功する鍵である。(『隊長の手引き』)

これからも、スカウトとともに活動的で楽しいスカウティングを進めてまいりましょう。

維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆さまです。

ご支援ありがとうございます 2017年 11~12月度

【北海道】 三浦 武 市場 尚 経森 延 西岡 浩 前田 和道 三国 久介 斉藤 久 喜多 英司 中本 亨 BS千歳1 BS江別2育成会 BS北海道連盟 理事会一同	【神奈川】 池田 真一 石川 雄司 吉原 滋彌 高野 新平 佐野 友保 斉藤 彰 川合 逸平 場 紀公 BS横浜43 (株)ハセガワ 長谷川 洋一 ソーン・ジャック	佐々木 慶一 改田 哲明 石神 基弘 川田 常夫 三輪 俊雄 大野 憲昭 水谷 功 渡辺 義昌 神山 勝治 加藤 芳克 (株)マルエイ 中野事務機 ウチダ動物病院 テックミズノ(株)	【静岡】 林 晴二 川村 進 藤田 和夫 富山 貞男 中嶋 正志 館 正義 小城 茂子 小柳 行俊 田中 邦雄 松本 正之 太田 浩三郎 山竹 厚生 秋鹿 博 松川 俊信 大川 靖夫 上川 陽子 小井 由雄 佐野 愛子 村辺 信宏 村松 朝雄 勝又 啓子 松田 正晃 田村 照児 島山 幸喜 大石 稔 BS富士15 BS浜北・天竜地区 BS三島地区 カフムラ歯科クリニック 川村 進太郎	【愛知】 森 明 寺原 久男 丹羽 好三 尾根 智宏 奥村 昌寿 内村 義夫 鈴木 勝 近藤 裕秋 藤川 卓朗 渡辺 昌 肥田 莊治 花井 勝美 笹木 規 渡辺 豊 小泉 須雄 大前 勝司 村井 邦政 氏家 光則 沼島 光男 鈴木 益美 佐藤 雅 竹山 勉 奥谷 憲 早川 権 五島 道夫 鈴木 和義 出田 武志 西尾 浩司 村中 安 岩井 勝 伊吹 登 水野 一男 野 義久	信彰 一博 仲泰 夫 藤信 治 白井 均 岡田 均 BS岡崎12 BS大府2 BS常滑6 BS津島3 BS東郷1 BS半田7 BS豊川1 BS安城1 BS常滑8 BS名古屋64育成会 BS長久手1育成会 (株)アヤボ (株)ワールドハット 岡谷不動産(株)	【三重】 田中 勤 川北 博文 樋口 晃嗣 川北 佳伸 前田 隆司 柴田 伸彦 服部 昌弘 BS四日市15育成会 鈴鹿 機修 (株)白木技建	【滋賀】 清水 幸一 榎野 辰則 近藤 良三 山村 道治 國友 政治 林 俊次 西野 賢一 安達 昌成 谷口 平八朗 BS京都65 (株)公益社	【兵庫】 津田 芳宏 伊野 淳治 中田 淳子 池田 好信 井関 義弘 斎藤 聖一 井上 通泰 佐藤 正勝 東松 健二 岡田 昌宏 寄田 泰彦 宮本 慎介 瀬山 慎和 丸山 業 中田 華奈 梅田 晴代 藤川 義明 新谷 求 長島 博美 句梅 篤弘 下門 吉生 【奈良】 松下 武雄	吉田 甚造 森川 憲二 櫻井 晃一 宮脇 誠 細川 雅基 松本 安嘉 數岡 克美 智原測量設計(株) 【和歌山】 畔柳 勝 藤田 弘治 奥野 芳晃 (株)遍照尊院 【大阪】 湯川 弥寿彦 椿本 靖彦 高見 篤志郎 吉岡 正晴 河見 洋治 喜多 文夫 丸谷 登 占部 訓寛 占部 文夫 斎藤 BS東大阪10 BS大阪72育成会 【鳥取】 坂口 祐紀雄 浦川 淳一 松田 一三 堀尾 敏昭 田邊 洋一 【島根】 小川 喜多男 井口 誠 河角 隆治 岩田 春子 安井 敦子 (株)杉原本店 (株)アイエム コーポレーション 【岡山】 光畑 俊行 脇本 富治 杉本 興一 坪井 慈朗 【広島】 角山 肇 登世岡 浩治 BS広島県連盟 BS広島県連盟 スカウトクラブ 中国電力(株) 役員有志 【山口】 和田 昭宏 福村 佳代子 吉武 妙子 福谷 正道 藤中 義久 上村 浩司 【徳島】 楠本 育生 【香川】 植野 雅信 嶋田 鈴枝 今岡 扶彰 岩井 敏恭 【愛媛】 宮内 正民	本宮 敏治 【高知】 青木 浩 永野 隆史 【福岡】 大久保 征一 藤 玄洋 園山 正也 牧之内 繁男 平田 珠子 井手 直秀 倉成 佳代子 青谷 麻紀子 井手 明子 正木 伸一 辻 浩一 結城 利章 郡島 三曉 【佐賀】 原口 誠 石井 二三夫 BS佐賀県連盟 コイケスポーツ 【長崎】 渡部 明 白浜 文代 【熊本】 松尾 孝 吉田 日出輝 【宮崎】 豊秀 昌彦 黒木 潤一郎 池本 要 七牟礼 純一 齋藤 謙 富田 和枝 【鹿児島】 藤岡 義道 野間 嘉愛 久米 彬 【沖縄】 中井 健 【日本】 奥島 孝康 武井 重利 白井 堯子 森川 徹文 松原 俊治 内藤 順敬 山口 英一 森 衛 松本 幸次郎 行武 孝人 大浦 秀樹 額谷 征幸 板橋 晶子 尾上 憲勝 戸高 有基 高橋 昭二 茂木 源造 BS大阪123 BS広島県連盟 パナソニック(株) (株)プレジャー 玄プランニング
---	--	--	---	---	--	--	---	--	--	---

マンスリーサポート維持会員



毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/kifu/index.html>

11~12月にお申し込みいただいた方々です。

【福島】 関口 栄幸	【大阪】 西岡 實	渋谷 茂光 宇野 舞香
【富山】 東海 直樹	【福岡】 赤星 雄之	
【滋賀】 佐藤 博則	【日本】 木村 公一	



舎営ができる



携帯電話が使える



食事施設がある



駐車場あり



川遊びができる



男女別のトイレがある



営火ができる



その他

神奈川県相模原市藤野町佐野川1822

都心から70分のリフレッシュゾーン **桐花園**

<http://www.tokaen.jp>



この号持参でキャンプファイアをサービス!!

相模湖に近く、陣馬山、生藤山の麓に位置する緑に囲まれたキャンプ場です。

カブパック小人 ¥5,500(1泊3食税込)・寝具お持ち込みの場合 ¥5,200(込) / 大人 ¥6,000(1泊3食税込)・寝具お持ち込みの場合 ¥5,700 \*パンガロー・寝具(シーツ付)・入浴・食事付 \*3食の中で一部自炊やカブ弁当も料金内で可能です。\*



**T** 0426-87-2239  
**F** 0426-87-3159  
**M** info@tokaen.jp

■収容人数/バンガロー・キャビン250人[35棟]、民宿・合宿所100人、テント[10張] ■営業期間/通年 ■アクセス/中央自動車道相模湖ICより4km、JR中央線藤野駅より送迎あり



群馬県高崎市下室田町4642-5

パン作り体験が出来るキャンプ場 **サンコーハルナパーク**

<http://www.harunapark.com>



パン作り体験が出来るキャンプ場&ワイルド

上毛三山のひとつ、榛名山麓標高650mに位置し、場内にはヤマメ等が生息する沢が流れ、場内の管理棟「むさしや」ではマキ窯で焼く、手作りパンを作ることができます。またテントサイトの中で林間サイトはまさにワイルドの一言! 他のサイトとは川を挟んで離れている為、貸切りもOK な自然体験学習に最適なサイトです。



**T** 027-374-5151  
**F** 027-374-0370  
**M** hp@harunapark.com

■収容人数/舎営28人、テントサイト120人 ■営業期間/3月下旬~11月末 ■アクセス/関越自動車道高崎IC、前橋ICより国道406号、上里見交差点を右折し約10分(7km)



長野県長野市戸隠戸隠山国有林内

戸隠イースタンキャンプ場

[www.shinsyu-ringyou.com/camp](http://www.shinsyu-ringyou.com/camp)



大切なひとときをゆっくり楽しめるキャンプ場です

霊峰戸隠山の麓、小鳥のさえずりや木々の間を流れる涼風が皆様をお待ちしております。川遊び、魚釣り、登山などで豊かな自然とふれ合えます。植物園での野鳥と植物の観察会やオリエンテーリング等のプログラムも容易です。条件付きですが、ペットもお連れ頂けます。



**T** 026-256-3210  
**F** 026-256-3217  
**M** eastern-camp@shinsyu-ringyou.com

■収容人数/800人(オートキャンプ200台、バンガロー[大人4人程度]113棟) ■営業期間/4月29日~10月31日 ■アクセス/上信越自動車道長野ICより約30km(50分)、信濃町ICより約18km(30分)、長野駅から路線バスで約1時間。



福島県耶麻郡裏磐梯五色沼入口1074-511

みちのく野営場

<http://www.r-michinoku.com>



**T** 0241-32-2109  
**F** 0241-32-3000  
**M** rim@agate.plala.or.jp



6,000坪の野営場は自然豊かな高原リゾート



磐梯山一望



リゾートインみちのく60名収容

磐梯山一望 みちのく野営場6,000坪 五色沼へ徒歩7分 リゾートインみちのく60名収容

- ・標高800mの裏磐梯は山と湖の国
- ・多彩なプログラム作成が魅力
- ・80帖の多目的ホール完備(雨対策)
- ・みちのくマイクロバス(29人乗)所有
- ・コース間の送迎もスムーズに!!
- ・キャンプファイヤー場有り
- ・磐梯山一望の露天風呂(檜・岩)有り
- ・野営・舎営の合同キャンプも可能
- ・食材の注文もOK
- ・ぜひ、下見にお越しください

■収容人数/収容人数 野営場6,000坪 ■営業期間/通年 ■アクセス/磐越自動車道猪苗代・磐梯高原ICよりクルマで20分。JR猪苗代駅より東都バスで五色沼入口下車、徒歩7分



■ 野外活動のための安心・安全講座

# 安全な乗り物としての自転車

～改正道路交通法を参考にして～

## はじめに

手軽に運転できて、安全な乗り物として普及率も次第に高まっている自転車ですが、近年の交通事情とも相まって重大事故に見舞われることも少なくありません。こうした自転車の交通ルールの違反や、自転車が起こした事故をめぐる問題が顕在化する中、自転車の安全で快適な乗り方を普及することも考慮して、平成27年6月1日付で改正道路交通法(道交法)が施行されております。

しかし、道交法施行直後の自転車の安全利用促進委員会の調査では、“自転車を利用している多くの人は、自分自身はその対象外であると思込み、今回の道交法改正にあまり関心を持たない人が多い”こともわかりました。調査では、例えば、「道交法改正」の内容を理解していると多くの人が回答しているのに、本当に正しく理解していた人はそのうちの2割以下であり、さらには、3人に1人しか日常のメンテナンスをしていないことも指摘されております。

ここでは、改正道路交通法の中でも、技能章やチャレンジ章、サイクリングなど活動に大きく関わりのある「自転車」に関する部分に注目したいと思います。

## 改正道路交通法での「自転車」

最近の道交法改正では、「高齢運転者対策の推進を図るための規定の整備」(平成29年3月12日施行)において、高齢者による交通事故を防止するため、認知症などについての対策が強化されました。ボーイスカウト運動における指導者にも該当する方も少なくなく、大切な改正であると思いますが、先の平成27年6月1日施行の改正道交法では、「自転車の運転による交通の危険を防止するための講習に関する規定の整備」「自転車に関する規定の整備」など、自転車の扱いについての項目が中心となっております。

道交法による「自転車による危険な違反行為」とは、

- 1 信号無視
- 2 通行禁止違反
- 3 歩行者用道路における車両の義務違反(徐行違反)
- 4 通行区分違反
- 5 路側帯通行時の歩行者の通行妨害
- 6 遮断踏切立入り
- 7 交差点安全進行義務違反等
- 8 交差点優先車妨害等
- 9 環状交差点安全進行義務違反等
- 10 指定場所一時不停止等
- 11 歩道通行時の通行方法違反
- 12 制動装置(ブレーキ)不良自転車運転
- 13 酒酔い運転
- 14 安全運転義務違反



などであり、私たちはそれぞれについての内容を確認しておく必要があります。

14歳以上であれば、危険な違反行為を2回以上摘発された場合には、安全講習の受講を義務付けられたり、罰金刑となることがありますが、それ以上に自損事故にあったり、対人対物に大きな危害を与えたりすること

を忘れてはなりません。自動車運転免許証を取得している場合には、車両の構造や交通安全などについて学ぶチャンスがあり、事故の危険性や恐ろしさについても理解できるのですが、自動車運転免許証を持たない小中高校生の場合には、必ずしも認識しているとはいえません。例えば、徐行違反、通行区分違反、歩行者の通行妨害などについての違反行為を認識せずに自転車走行をしている場合が少なくありません。最近の調査によれば、中高校生の自転車による事故が、車道よりも歩道で多く発生している事実がそのことを物語っているといえるかもしれません。

自転車で走行中に、イヤホン、ヘッドフォンなどを使用して音楽を聴いていたたり、片手に傘やジュースのコップなどを持っていて歩行者との接触事故を起こしてしまったニュースも伝えられております。このような事故を未然に防ぐためにも、改めて自転車の扱い方や安全のためのマナーについての学習のチャンスが設けられなければならないでしょう。学校教育の中で行われている安全教室だけでは不足しており、家庭ばかりでなく、ボーイスカウト活動のプログラムでも行う必要があります。

## 正しい自転車の扱い方、安全運転のために

先の道交法に示された危険行為を行わないためには、自転車の構造を知り、自分の体型に合わせた調整をするほか、荷物を積載する場合のバランスを保つ方法や操縦の仕方の練習なども大切なことです。

例えば、原則として走行してはいけない歩道の坂道で、制御できないほどのスピードを出して歩行者に接触したり、車道を走行していても右折する自動車に巻き込まれたりすることもあります。スピードを出しすぎていて急ブレーキに耐えきれず、荷台の荷物のバランスが崩れて、自分自身が転倒して、大怪我をしてしまったという報告もあります。

各団のホームページなどを見ると、スカウト自身が荷物のバランスを崩さないような積載方法を工夫している事例もありますが、安易にスピードを出しすぎたり、重いバッグなどを荷台に乗せただけで走行したりしている光景も少なくないようです。今では一世帯あたり1,35台(自転車産業振興協会 平成25年調べ)もの自転車が普及しており、ビーバースカウトやカブスカウト年代での自転車保有率も増加しつつあります。

## 交通安全教育の必要性

先の調査によると、自転車についての交通安全教育を受けたことがない成人が4割弱であり、受けたと回答した人も“小学生のとき”、ついで“両親から”、そして“自動車運転免許取得時”という順序になるようです。事故率がますます高まる今日、幼少時などの早い時期での教育チャンスが望まれます。

自転車産業振興協会の調査結果では、安全のための対策や教育について、“ルールやマナーの遵守は認知度の上昇がキーとなっているが、幼い頃の学校や両親からの教育以外は、学習経験が少ない”ことも課題としてあげられております。

ボーイスカウト活動においては、チャレンジ章や技能章などの選択課目として、自転車の構造や安全のためのルールや正しいメンテナンスを自主的に学ぶことができますが、自転車にあまり興味をもたないメンバーに対しても、安全教育のためのチャンスを与えるべきかもしれません。(全日本交通安全協会資料を参考にしました)

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

# スカウティングの土台としての ウッドクラフト

世界的な動物作家・画家である、アーネスト・トンプソン・シートン(1860-1946)は、ボーイスカウトアメリカ連盟(BSA 1910年発足)の創始者でもありました。総長<sup>チーフスカウト</sup>のシートンは連盟発足にあたり、教育指針を立てています(詳しくは、本誌前号2018年1月号に)。ですが後年、その指針について、スカウト運動の創始者ベーデン・パウエル(1857-1941)などから大きな疑問が出たのです。

日本ではシートンの業績は『動物記』などの名作で広く知られています。一方、戦後の日本のスカウト教育では、シートン流の北米インディアンのウッドクラフトなどを取り入れていたアメリカ連盟の影響も少なくありません。本誌読者の中には、キャンプサイトや団本部にトーテム・ポールを立てた方も多いのではないのでしょうか。

そんなシートンの提唱した指針とその批判をふり返り、スカウト運動におけるウッドクラフト教育の役割を考えてみましょう。

## シートンの ウッドクラフト・ インディアンズ



インディアンの姿をしたシートン

シートンはスカウティングの指針として、①レクリエーション(人間性回復)であること ②キャンプすること ③子どもたちの自治を尊ぶこと ④キャンプファイアを欠かさないこと ⑤ウッドクラフトを採求すること ⑥お互いの競争ではなく、自然界の基準に従って ⑦それぞれの功績を称えること ⑧少年の英雄的な理想を考慮すること ⑨何事にも視覚的効果を図ることを挙げています。

さらに、多人数のキャンプには組織化が必要なこと、その理想的な形として、北米インディアン部族の社会構成を勧めています。それは酋長<sup>チーフ</sup>を核に、経験ある指導者の会議<sup>カウンスル</sup>、精神的・医療的なアドバイスをする<sup>メディスン・マン</sup>「祈禱師」などから成っていました。シートンは、野外技能だけでなく、北米インディアンの倫理と社会を子どもたちの人格教育に取り入れ、ウッドクラフト・インディアンズという団体を主宰しており、さらにその教育原則をスカウト運動のものとしたかったのです。

1907年、イギリスでベーデン・パウエル(B-P)がボーイスカウト連盟を発足。シートンとB-Pはウッドクラフト教育を通じた人格形成を目指すことで共感し、大西洋を挟んでお互いに運動発展のために協力することになりました。

しかし、その後、B-Pはシートンの指針に疑問を抱き、イギリスの指導者向け機関誌『スカウター』(1920年7月号)で以下のように述べています。

## シートンのウッドクラフト運動への B-Pの批判

### ウッドクラフトは貝殻玉ではない

私がウッドクラフトは「真のスカウティングの鍵になる活動である」と主張していたと言われていることは知っている。

それは間違っていない。しかし、その時「ウッドクラフト」という言葉は北米インディアンのような身なりをする意味、すなわち「頭の毛の房飾りと貝殻玉、ティーピーと羽毛」を採用するよう私が主張していると説明されていた。これは間違いである。

私は少しは北米インディアンのことを知っており、彼らの(その全盛期でも違ったが)明るい面だけを誰かが描いているが、それが彼らの全てではない。

しかし、私は彼らに敵意を抱いている訳ではない。われわれが彼らの一番よいものを取り上げるなら、彼らのロマンチックな物語、絵のような衣装と慣習は、少年たちを引きつけることもあることが分かり、北米インディアンをこうした点でわれわれにとって役に立つものにできる。

同様に、彼らのアフリカの仲間であるズールー族、ハウサ族、ソマリ族、アラブ人(全て私は知っているが)も役立てることができる。また、マオリ族、オーストラリア原住民、南太平洋の島民、グルカ族、ビルマ人、シーク教徒なども見落としてはいけない。どれも全て欠点を持っているだろうが、間違いなく彼らは全て、われわれが学ぶことのできる何かを持っている。

しかし、ウッドクラフトはより未開の民族の人たちの色々なものに表面的に引きつけられたり、模倣したりすることよりもっと奥深いものである。

それはむしろ、自然という本から読み取るというこれら全ての人々に共通している能力であり、彼らの教育の仕方は多少原始的なものではあるが、自然を通して行われている。そうした方法は、人為的な手順を適用するわれわれには手も足も出ないものである。

観察と推理、キャンプの技術、自活、社会規範、肉体的能力の開発(目のすばやい動きも含めて)と忍耐力、素朴な喜びや楽しみを見出す能力という点で、われわれがいわゆる未開人から学ぶものはたくさんある。

これと同じ教育が知っての通り、文明社会の男では探検家、森林生活者、辺境開拓者として、町に住んでいる普通の学校教育を受けた者よりも、もっと有能で男らしく、心身共に幅広い人間を作り出すのに適用されている。

1920.7



シートンが描いた北米インディアンのトーテム・ポール  
(『The Book of Woodcraft and Indian Lore』より)

(解説) 解説が不要なくらい内容は明快です。欧米に留まったシートンと違い、良くも悪くも「文明国」の一員として世界中を回り、多様な体験をしたB-Pならではの慧眼が光っています。そして、批判にとどまらず、ウッドクラフト教育こそが人間作りの土台であることを明解に述べています。(貝殻玉 wampum とは、北米西海岸のインディアンが通貨などのために使った貝殻のこと)



※上記の声明から3か月後、B-Pはさらに以下のような、コメントを『スカウター』に寄せました。

### ウッドクラフト・インディアンたち

私は2人の隊長からスカウトたちに「北米インディアンとウッドクラフト運動」のいずれを認めるのかと聞かれたことがある。

さて、これはまず言葉が混乱している。私が見ている北米インディアンの目指すものには、いかなる特別な「運動」の必要性も運動もないが、以前、アメリカで行われていたものが結果的にボーイスカウトに入ったのである。

ウッドクラフトは、私がしばしば指摘しているように、スカウト活動の鍵である。このためには、パイオニアリングや自然の知識、森林生活に必要なもの全般を取り入れてキャンプをしたり、ボートに乗ったり、ハイキングなどを頻繁に行うことが不可欠である。

こうしたことが簡単にできない所では、北米インディアンの行っていることをうまく利用できることが多い。

しかし、これはわれわれの仲間から独立した運動になる必要はないし、そうした処置は様々な理由から好ましいものではない。

個人的には、私は北米インディアンが持っている技能は好きである。私はカトリンと北米インディアンの物語を聞いて育った。私が個人的に北米インディアンのことを知った時には、もはやその歴史もあざやかに彩られたものではなくっていったのは確かである。いわゆる文明化が道徳的にも肉体的にも彼らを荒廃させていた。

同時に、こうした勇者たちの目に写るような業績、儀式、衣装は少年たちの興味を強くそそるものであ

る。そう、時には大人たちでさえもそられる。

都市に住んでいる者が何かウッドクラフト名を付けたり、自分のサインの後ろにインディアン



B-Pの描いた北米インディアン  
("Scouting for Boys"より)

ディアン

のやり方を真似して絵文字を付け加えたりするのは馬鹿げたことだと言われている。それはそのとおりなのだが、かつてオリンピアでアメリカ連盟の北米インディアンから「地平線の1本松」という称号を与えられた時は、本物のマオリ族から南アフリカにおける功績で彼らの最も大切にしている戦利品の1つを贈られた時、あるいはマタペレ族の戦士から、私の戦場での働きから私のことを「イムピーサ」と呼ばれた時と全く同じように興奮し、喜んだのは事実である。

したがって、それは単なる見せかけに過ぎないかもしれないが、それでもなお普通のスカウト訓練の応用の1つとして、北米インディアンのやり方はスカウト隊に、一定の間は効果的であろうし、うまく適用できるものである。

しかし、隊長はこうした魅力が永続的なものだと信頼してはならないし、少年たちはそれに飽きてしまいがちであったり、それからはずれて馬鹿にするようになるということを忘れてはならない。さらに、この北米インディアンの訓練は少年が青年になり始めると急激に魅力を失ってしまう。その結果、馬鹿げたことにもっと敏感になる。

この実践が隊で成功するかどうかは、隊長自身が共感するかどうかに大いに左右される。隊長が北米インディアンの教えを楽しんで、空想の世界に入り、その森のことと彼らの技能を知ることができるなら、大きな成果が得られるだろう。しかし、少年というのは粗さがしがうまい連中だから、本当に信じていない者とか「経験していない」人は素早く見抜くものである。1920.10

## アメリカ連盟に受け入れられなかったシートン

(解説) 当時イギリスではシートン流のウッドクラフト運動をイギリスのスカウティングとして認めようとする動きが興っていました。それに対する回答でもあります。ただし、それを全否定するのではなく、運動の成否は指導者の心構えと体験次第であることもしっかりと述べています。(カトリンはインディアンに詳しいアメリカの作家、「イムピーサ」とは「眠らない動物」という意味です)

一方、1910年の連盟発足後、シートンの教育指針はB-Pとは違った視点から、同志であるはずのBSAから批判を受けていました。以下「BSA発足100周年記念本」より、引用します。

平和主義対軍国主義の長期にわたる論争は、BSAに結集した人々の亀裂がより深くなっていたことの反映の一つだった。新しい組織の全体としての理念と目標を決定したとき、連盟の創始者には、意見の相

違がかなりあったのである。

総長のアーネスト・トンプソン・シートンは、BSAは愛国心と市民権にこだわり過ぎて感じていると感じており、1915年には連盟を去ってしまった。彼は新しい組織を始めた。少年にも少女にも開かれた、ザ・ウッドクラフト・リーグ・オブ・アメリカだ。シートンは自分の『動物記』の出版を続け、合衆国の市民権をとり、ニュー・メキシコで86歳で亡くなった。

『ハンドブック・フォア・ボーイズ』でシートンが貢献したかなりの部分が後の版では削除され、シートンがBSAを辞した後、BSAの「精神的な父親」の役割は、ダン・ピアードへと引き継がれた。しかしながら、スカウト運動全般、とりわけBSAへのシートンの影響は少ない。アメリカ・インディアンの風習の尊重や、自然とのふれあいの重視に、シートンの遺産は生きている。それはBSAのプログラムの大半、とりわけ「ザ・オーダー・オブ・ジ・アロー」の土台となっているのである。

(解説) ボーイスカウト運動の目的がよき国民を育てることである以上、その方針が時の国政に左右されることがよくあります。アメリカでは、1914年に始まった第1次世界大戦に対する政策と国民感情がBSAの方針に反映していました(ここでの軍国主義とは、国全体が軍事国家となるというほどではなく、軍事力による紛争解決を認める、スカウティングのプログラムにもその考えを取り入れるというものでした)。シートン(国籍はカナダでした)は受け入れませんでした。

しかし、シートンは『動物記』などで大きな実績を積んでおり、そのウッドクラフト運動へのアメリカ国民からの支持は続きました。後に、BSAも再びシートンの業績を認めることとなり、1935年にはそれをたたえる「シルバーバッファロー賞」を贈っています(シートンはその授賞式には出席しませんでした)。

引用文中の「ザ・オーダー・オブ・ジ・アロー」とは、一定の資格を持ったスカウトの地域結社のようなもので、儀式などに北米インディアンの様式が取り入れられているようです。



親交のあった、右よりピアード(1850-1941)、B-P、シートン。

前号、今号とシートンの教育指針を取り上げてみました。

大自然に深く接していたシートンのウッドクラフト教育はB-Pのものより緻密であるといわれています。教育プログラム的手段として、スカウト教育の土台として、時流を超えて、今日でも学ぶべきことは多々あるのではないのでしょうか。

ただし「スカウティングの指針」となると、B-Pの方が視野が広がったことがわかります。ウッドクラフトそのものだけでなく、その上に展開される人格教育について、B-Pは高みに立ち、より遠くを見ており、それがボーイスカウト運動が世界に広まった要因でもあったようです。

この「ウッドクラフトとスカウティング」連載は、読者の皆さんが、デジタル版を含み原本・原文を参照できるような資料を用いています。

### 引用書



#### 「B-Pの展望」

(翻訳・於保信義/監修・アダルトリソース委員会/2002/ボーイスカウト日本連盟発行)

B-Pが1909年から1940年にかけて、イギリス連盟の指導者用機関誌「スカウター」に寄稿したコメントを編集したもの。原本はイギリス連盟が発行していたが絶版になっていました。訳本は1979年にカナダ連盟が出した再版本が底本。ボースカウト・エンタープライズで販売。税込540円。

原文は「B-P's OUTLOOK」というタイトルで、THE DUNPというボーイスカウト関係の文献サイトにアップされています。



#### 「Chuck Wills "Boy Scouts of America: A Centennial History"」

(2009/Dorling Kindersley Limited)

BSAの発足100周年記念本。

### 参考書



#### 「スカウト運動」

(E.E.レイノルズ/1974/ボーイスカウト日本連盟発行)

原本は1950年刊。ボーイスカウト・エンタープライズで販売。税込900円。

シートンについては、前号の3点に加え、シートン自身がいかにインディアンに心酔していたかがわかる本を参考にしました。いずれも絶版ですが、古書でほぼ入手可能です。

「子どもたちに愛されたナチュラリスト シートン」  
(今泉吉晴/2002/福音館書店)

「シートン動物記 別巻 シートン自叙伝」  
(アーネスト・T・シートン/藤原英司訳/1974/集英社)

「燃えさかる火のそばで(シートン伝)」  
(ジュリア・シートン/佐藤亮一訳/1971/早川書房)

「レッドマンのころ——『動物記』のシートンが集めた北米インディアンの教え」  
(アーネスト・シートン/近藤千雄訳/1993/北沢図書出版)

今回は、ウッドクラフト教育が観察・推理力の養成やリーダーシップやメンバーシップの形成にとどまらず、なぜ信仰心と奉仕の精神を育てることに繋がるのか、そのためには何が大切なのか、B-Pの『ローバーリング・ツウ・サクセス』をもとに考えてみましょう。



## 難民支援衣料回収プロジェクト 2018春

「より良き社会を創る」ボーイスカウトと「世界を良い方向に変えていく」株式会社ユニクロが協働して実施している難民支援衣料回収プロジェクトを、本年も継続して実施いたします。

世界中にいる難民のうち、半分以上が18歳以下の子どものことから、青少年の育成に寄与する団体として本プロジェクトに取り組んでまいります。昨年は、地域の幼稚園などに声をかけて地域を巻き込んで参加していただいた団もありました。引き続き、各団でのご協力をお願いいたします。



春のキャンペーンは、3月1日(木)～5月31日(木)です。参加および報告等の詳細は日本連盟 HP をご覧ください

[http://www.scout.or.jp/support\\_for\\_refugees/](http://www.scout.or.jp/support_for_refugees/)



### 回収対象

1. レディース・メンズ服  
ユニクロ・GU(ジーユー)製品のみ
2. 子ども服(60～150cm)  
ユニクロ・GU以外のブランドも可

### 回収対象外

下着(靴下含む)、帽子やベルト等の小物・装飾品、体操着、ボーイスカウトの制服

※ 子ども服は、ボーイスカウト内での回収に限り、ブランドを問いません。個人での持ち込みの場合、ユニクロ・GU以外の製品は回収対象外になるのでご注意ください。

※ 必ず洗濯をし、ポケットの中に何も入っていないことを確認してから持ち込んでください。

### 難民とは？

1951年の「難民の地位に関する条約」では、「人種、宗教、国籍、特定の社会集団に属する、または政治的意見などの理由で、自国にいと迫害を受けるかあるいは迫害を受ける恐れがあるために他国に逃れた」人々と定義されています。世界で支援を必要としている人は約6,560万人、そのうち18歳未満の子どもの約51%にも及んでいます。また、単身あるいは親とはぐれた状態で庇護を求めている子どもたちは7万5,000人に及びます(2016年末時点 UNHCR 調べ)。

## 平成29年7月大雨災害 義援金・見舞金・支援金 報告

昨年7月に発生した九州北部を中心とした大雨災害から半年以上が経ちました。今月号では、平成29年12月5日から2月5日までに活動報告をいただいた団等を掲載するとともに、義援金等の総額を報告いたします。

※ 報告に団名と個人名が併記されている場合はすべて団名に統一させていただいております。ご了承ください。

※ 平成29年12月4日までの報告受付分は本誌 No.722・723に掲載しております。

日本連盟に活動報告をいただいている団等(赤十字社等への直送含む)  
日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金

総額 **¥2,503,737**

【山口】岩国3

スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金

総額 **¥139,535**

ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金

総額 **¥85,446**

【福岡】北九州1

2018  
No.725  
5

## SCOUTING

次号予告 次号の「スカウティング」は、2018年5月1日発行

### 特集 平成30年度事業計画

新年度を迎える5月号。

100周年を見据えた今年度の取り組みをご紹介します。

#### なんでも応募先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局「スカウティング」投稿係  
〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3  
電話 03-5805-2903 FAX 03-5805-2908 Eメール [scouting@scout.or.jp](mailto:scouting@scout.or.jp)

**投稿規定** / 本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却いたしませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

#### 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

「スカウティング」2018年3月号 No.724 平成30年3月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3 <https://www.scout.or.jp>

「スカウティング」は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規・追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封して送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封して送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部に相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。  
©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2017 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(TEL:03-5805-2903)までご連絡ください。

# SCOUTING

デジタル配信しています!



前号より、機関紙「スカウティング」のデジタル版(PDF)を読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご利用ください。



ID: [scouting-magazine](https://www.scout.or.jp/scouting-magazine)

PASS: sonaeyotuneni

URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

# Scout Shop

<https://www.scout.or.jp/scoutshop/index.html>



## 17NSJ マグカップ

品番 / 71065  
価格 / 1,400円(税込)  
サイズ / 直径86mm × 高さ110mm

- 大会ロゴマークのマグカップ
- 6月上旬発売予定



# 17NSJ 大会記念商品発売

## 17NSJ 木製チーフリング

品番 / 71026  
価格 / 300円(税込)  
サイズ / 38mm

- 大会ロゴマークの木製チーフリング
- 3月中旬発売予定



## 17NSJ イカチーフリング

品番 / 71031  
価格 / 350円(税込)  
サイズ / 42mm × 29mm

- イカをモチーフにしたチーフリング
- 3月中旬発売予定



## 17NSJ 革チーフリング

品番 / 71024  
価格 / 450円(税込)  
サイズ / 45mm

- 大会ロゴマークの革チーフリング
- 3月中旬発売予定



## 17NSJ タコチーフリング

品番 / 71033  
価格 / 350円(税込)  
サイズ / 34mm × 35mm

- タコをモチーフにしたチーフリング
- 3月中旬発売予定



一般財団法人  
ボーイスカウトエンタープライズ  
Boyscout Enterprise

- スカウト用品ご購入の際は、県連盟または、お近くのスカウト用品取扱協力店にてお求めください。
- 本ページ掲載商品は直接注文でもお求めいただけます。お支払いはボーイスカウトカード (BSカード) または代金引換となります。日本連盟ホームページの「メンバー向け情報」→「ダウンロードセンター」より注文書をダウンロードのうえご注文ください。

FIRESIDE

# 薪火のある暮らし

焚き付けの小さな揺らめきは、  
やがてドラマチックな真紅の熾き火に変化します。  
薪火がもたらす熱には、  
他の燃料にはないリッチで穏やかな温もりがあります。  
薪火をもっと自由に、もっと楽しくするアイテムをご紹介します。



弱くなった炎をあっという間に甦らせるファイヤーブラスター。

1. アルミ製で軽量のポーカー、タック。2. 錆びた鉄の味わいを楽しむファイヤープレスの Tipi。3. 使い込むほどに風合いが増す人気のグランマーコッパーケトル。4. ファイヤーサイドストーブグローブは熱に強いのに柔らかく作業性抜群。5. バーモントキャストिंगスの「デファイアント」。最大クラスのボディで広々とした部屋もパワフルに暖める。6. それぞれの職人が1本の斧を最初から最後まで作り上げるグレンスフォッシュ・ブルーク。7. 場所に合わせてサイズ変更ができる2×4ログラック。

最新カタログ & ポールの薪ストーブ入門  
をもれなくプレゼント!



- 応募締め切り 2018/5/1
- タイトル/プレゼント係  
本文/郵便番号、住所、  
氏名(ふりがな)、性別、年齢



THE FIRESIDE COMPANY  
ファイヤーサイド株式会社